

JVC

ハイブリッドレコーダー

型名 **VR-A410**

CM5000
セントラル マネージメント システム
取扱説明書

目次

第 1 章	はじめに	5
第 2 章	CMS のインストール	6
2.1	システム要件	6
2.2	Windows での CMS ソフトウェアのインストール.....	6
2.3	CMS の実行.....	7
第 3 章	リモート NVR サーバーの監視	8
3.1	NVR サーバーの追加	8
	[NVR Management]ダイアログボックスで NVR サーバーを追加	8
	自動検索を使用して NVR サーバーを追加.....	10
3.2	NVR サーバーの削除	12
3.3	NVR サーバーの編集	12
3.4	NVR サーバーの監視	13
3.4.1	モニター ページの追加/削除	14
3.4.2	モニター ページの名前変更	14
3.4.3	監視対象チャンネルのアイコン	14
3.4.4	監視対象チャンネルを有効/無効にする.....	15
3.4.5	リモート NVR サーバーのステータスを更新	16
3.4.6	2 方向オーディオ機能の使用	17
3.5	ライブビュー モードでの再生.....	18
3.6	再生モードでの再生.....	19
3.7	デジタル PTZ 機能.....	20
3.8	監視対象チャンネルの接続/切断	22
3.9	監視対象チャンネルのストリーミングを選択	23
3.10	チャンネルのサウンドを有効/無効にする.....	23
3.11	複数画面を単一画面表示に切り換え.....	24
3.12	カメラ リスト セクションを非表示にする	25
3.13	画面チャンネル表示モード.....	26
第 4 章	CMS の使用	27
4.1	ライブビュー モードの機能について	27
4.1.1	E-マップ設定	30
4.1.2	PTZ コントロール パネルの使用	35
4.2	再生モードの機能について	37

4.2.1	イベント検索の使用.....	42
4.2.2	ビジュアル検索の使用.....	44
4.2.3	ビデオのセクションをブックマークするには.....	46
4.2.4	再生ビデオのバックアップ.....	48
4.2.5	QPlayer を使用してバックアップファイルを再生.....	57
4.2.6	映像クリップ出力.....	63
4.3	簡易モード.....	65
4.3.1	ライブビュー簡易モードの機能について.....	66
4.3.2	再生簡易モードの機能について.....	68
4.4	ログビューアー.....	72
4.4.1	イベントログビューアーの使用.....	72
4.4.2	アラームログビューアーの使用.....	74
4.4.3	POS ログビューアーの使用.....	78
4.5	画面のスナップショット.....	79
第 5 章 CMS のカスタマイズ.....		80
5.1	CMS の言語のセットアップ.....	81
5.2	システムコンフィギュレーションのインポート/エクスポート.....	81
5.3	シーケンシャル時間の調整.....	82
5.4	ユーザーアカウントの管理.....	82
5.5	モニターのセットアップ.....	84
第 6 章 リモート NVR サーバーのカスタマイズ.....		85

この取扱説明書の見かた

● 本文中の記号の見かた



機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

● 本書の記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。
本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- Windows、Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。

第 1 章 はじめに

CM5000(以下 CMS)は、インターネット接続を通して最大 16 台の NVR サーバーを監視できる一元監視システムです。



第 2 章 CMS のインストール


本章では、CMS ソフトウェアのインストール方法について説明します。

2.1 システム要件


CMS の使用要件は、以下の表のとおりです。

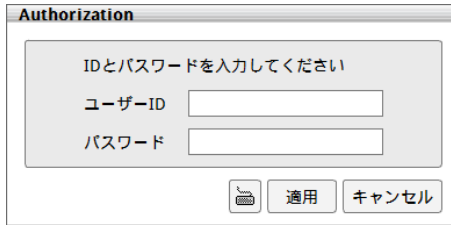
	最低要件	推奨
CPU	Intel Core i5 3.3GHz	Intel Core i7 3.2GHz
メイン メモリ	1GB	2GB 以上
ビデオ メモリ	512MB	1GB 以上
ハードディスク	160GB 以上	
OS	Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8/8.1	
ネットワーク	10/100 Mbps Ethernet	
その他	DirectX 9.0 以上	

2.2 Windows での CMS ソフトウェアのインストール

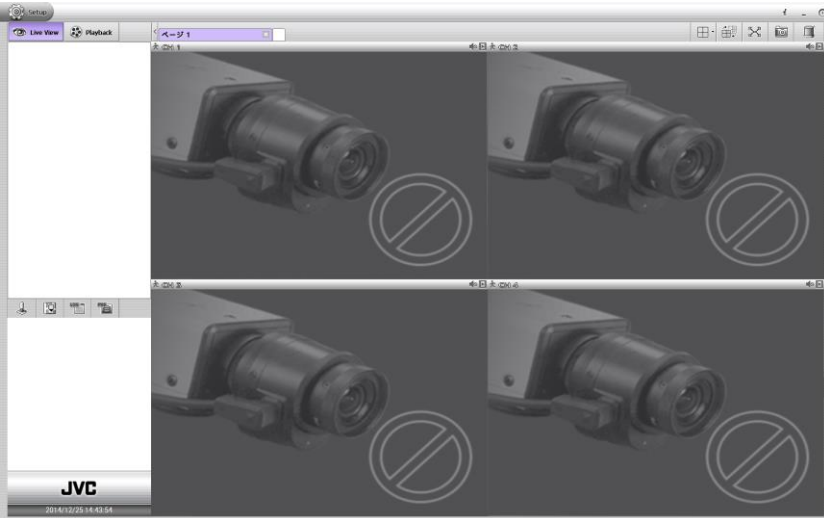
1. インストール CD を CD-ROM ドライブに入れて、[Install CM5000 (CM5000 のインストール)] をクリックします。
2. CMS のログイン用のユーザー名とパスワードを設定します。
3. 次に、画面上の指示に従ってインストールを完了します。
4. インストールが完了したら、[Finish (終了)] をクリックします。
5. これで CMS プログラムを実行できるようになります。アプリケーションを実行するには、PC デスクトップの CMS アイコン() をクリックします。

2.3 CMS の実行

1. PC デスクトップ上の CMS アイコン()をクリックして、CMS アプリケーションを実行します。
2. 初めてログインする場合は、インストール時に入力した ID とパスワードを入力します。
ログインパスワードは[ユーザー管理]で変更できます。([第 5.4 章](#) を参照)



3. CMS にログインすると、ライブビューモードが表示されます。



4. 監視用のリモート NVR サーバーを追加するには、[第 3 章](#) を参照してください。
5. CMS を使用するには、[第 4 章](#) を参照してください。
6. 監視用のリモート NVR サーバーを設定するには、[第 6 章](#) を参照してください。

第 3 章 リモート NVR サーバーの監視

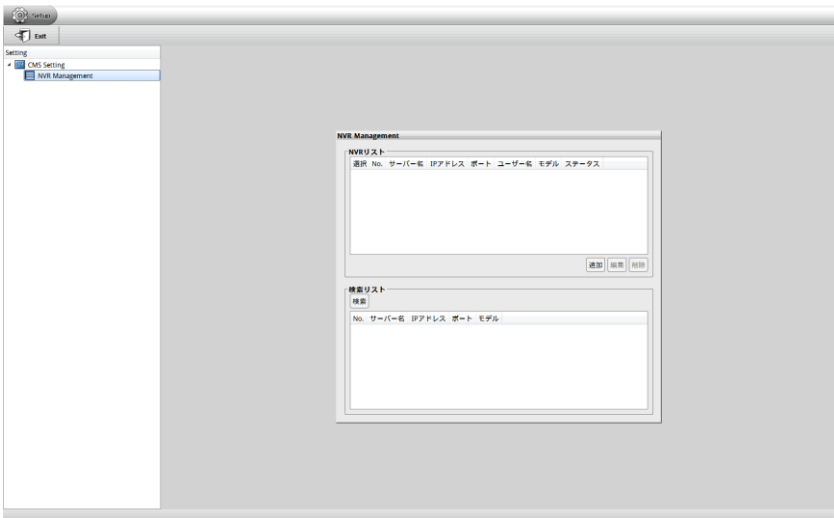
CMS は最大 16 台の NVR サーバーを監視できます。

3.1 NVR サーバーの追加

監視および設定のための NVR を追加する方法は 2 つあります。以下の節で説明します。

[NVR Management]ダイアログボックスで NVR サーバーを追加

1. ライブビューUI で、[**Setup (セットアップ)**]をクリックして[Setup (セットアップ)]ウィンドウを表示します。
[Setup (セットアップ)]ウィンドウで、[CMS Setting (CMS 設定)]の ▷ アイコンをクリックします。次に、[NVR Management (NVR 管理)]を選択します。[NVR Management (NVR 管理)]ページが表示されます。



2. [**追加**]ボタンをクリックします。[NVR Information (NVR 情報)]ダイアログが表示されます。
3. [NVR Information (NVR 情報)]ダイアログボックスに以下のデータを入力します。
 - **サーバー名**: リモート NVR の名前。NVR サーバーの名前は、CMS が NVR サーバーに接続されたときに表示されます。
 - **IP/ドメイン名**: NVR サーバーの IP アドレスを入力します。また、ドメイン名が使用可能な場合は、IP アドレスの代わりにドメイン名を入力することもできます。

- **ポート**: NVR サーバーのネットワークポート。既定は 80 です。
- **ユーザー名**: NVR サーバーへのログインに使用する ID。
- **パスワード**: NVR サーバーへのログインに使用するパスワード。

NVR Information

NVR情報

サーバー名

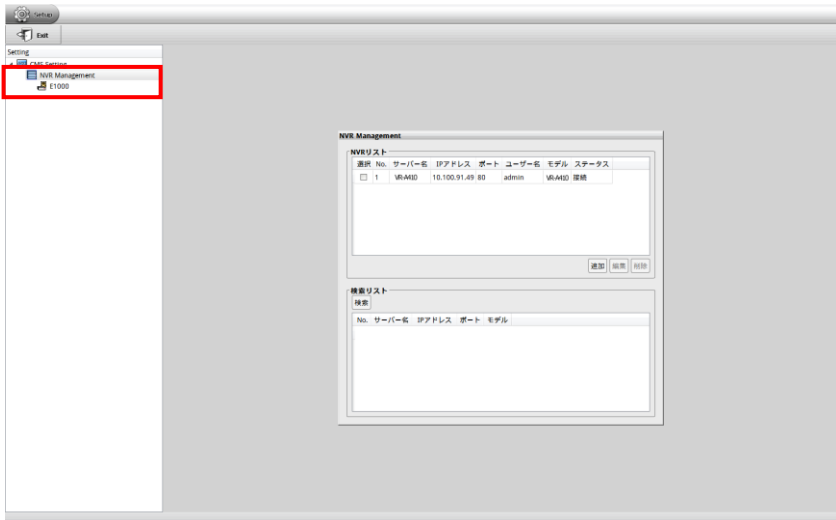
IP/ドメイン名

ポート

ユーザー名

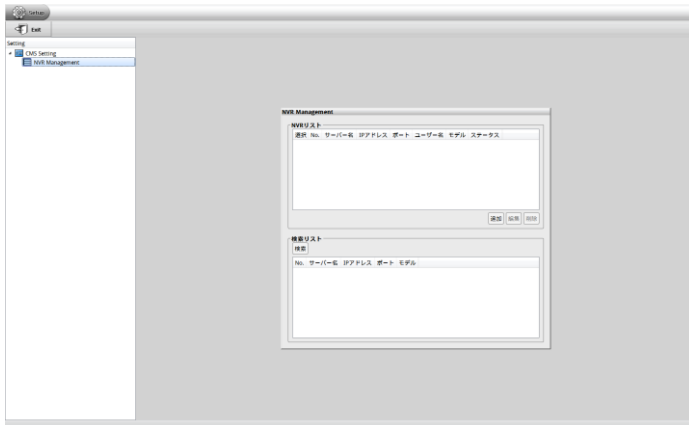
パスワード

4. **[Apply(適用)]**をクリックして接続します。
5. 正常に接続されたら、**[NVR Management (NVR 管理)]**の  アイコンをクリックします。接続されているすべての NVR サーバーがリストされます。

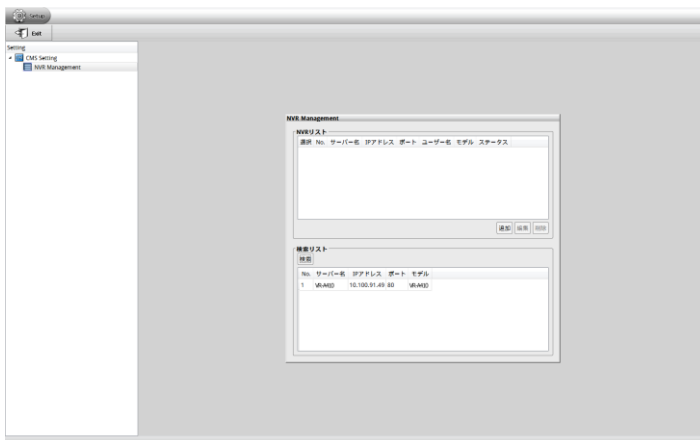


自動検索を使用して NVR サーバーを追加

1. [Setup(セットアップ)]タブをクリックして、[CMS Setting(CMS 設定)]の ▷ アイコンをクリックし、[NVR Management(NVR 管理)]をクリックします。[NVR Management(NVR 管理)]ダイアログが画面に表示されます。
2. 次に、[検索]ボタンをクリックして、リモート NVR サーバーの検索を開始します。



3. 検索が完了したら、CMS が検出した NVR サーバーを選択して、[追加]ボタンをクリックします。



[メモ] Windows ファイアウォールが有効の場合、検索しても見つからない場合があります。この場合は、Windows ファイアウォールを無効にするか、手動で登録してください。

[NVR Information (NVR 情報)] ダイアログが表示されます。リモート NVR サーバーのユーザー名とパスワードを入力して、[Apply(適用)]をクリックして接続します。

NVR Information

NVR情報

サーバー名

IP/ドメイン名

ポート

ユーザー名

パスワード

4. 正常に接続されると、[NVR List (NVR リスト)] セクションに NVR サーバーのリストが表示されます。

NVR Management

NVRリスト

選択	No.	サーバー名	IPアドレス	ポート	ユーザー名	モデル	ステータス
<input type="checkbox"/>	1	V8-AHD	10.100.91.49	80	admin	V8-AHD	接続

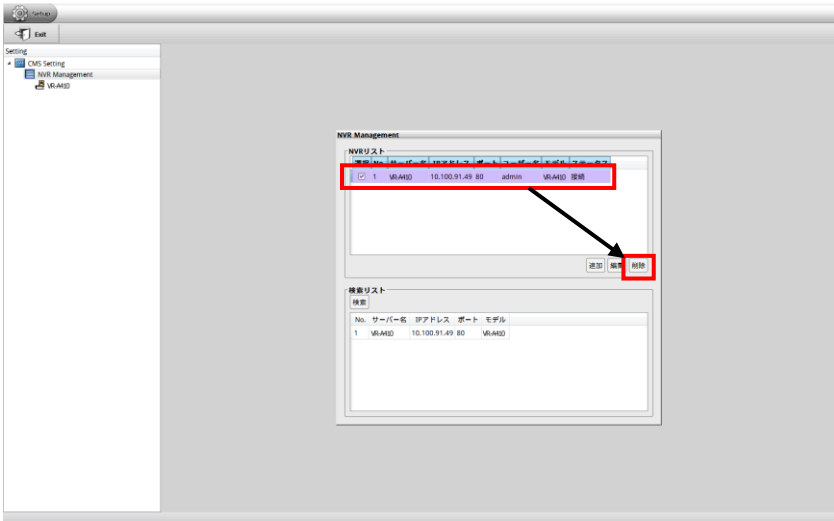
検索リスト

検索

No.	サーバー名	IPアドレス	ポート	モデル
-----	-------	--------	-----	-----

3.2 NVR サーバーの削除

1. **[Setup(セットアップ)]**タブをクリックして、**[CMS Setting(CMS 設定)]**の **▷** アイコンをクリックし、**[NVR Management(NVR 管理)]**をクリックします。**[NVR Management(NVR 管理)]**ダイアログが画面に表示されます。
2. 削除する NVR サーバーを選択します。
3. 次に、**[削除]**ボタンをクリックします。



3.3 NVR サーバーの編集

1. **[Setup(セットアップ)]**タブをクリックして、**[CMS Setting(CMS 設定)]**の **▷** アイコンをクリックし、**[NVR Management(NVR 管理)]**をクリックします。**[NVR Management(NVR 管理)]**ダイアログが画面に表示されます。
2. 編集する NVR サーバーを選択します。
3. 次に、**[編集]**ボタンをクリックします。**[NVR Information(NVR 情報)]**ダイアログが表示されます。
4. **[NVR Information(NVR 情報)]**ダイアログには NVR サーバーのデータが表示されます。ここで、NVR サーバーの情報を変更できます。
5. 編集が終わったら、**[Apply(適用)]**をクリックして新しい設定を適用します。

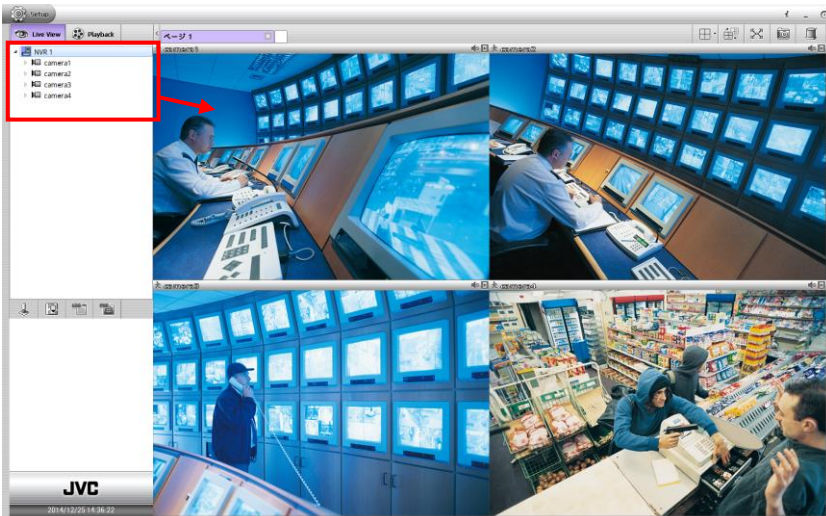
3.4 NVR サーバーの監視

CMS では、別の NVR サーバーのカメラ チャンネルを監視できます。CMS を再起動するか、再ログインすると、CMS は自動的に NVR サーバーに再接続します。

1. ライブビュー モードで、NVR サーバーを選択して ▷ アイコンをクリックし、カメラ リストを展開します。
2. 監視するカメラをチャンネル画面にドラッグします。
3. カメラのライブ ビデオが表示されます。



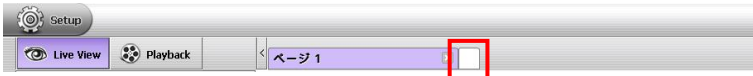
“NVR1” をチャンネルにドラッグすると、NVR に接続されているすべてのカメラを監視できます。



3.4.1 モニター ページの追加/削除

CMS では、最大 4 つのモニター ページを追加して、異なるモニター の組み合わせを設定できます。

1. ライブビュー モードでは、ブランクのページ タブをクリックして、新しいモニター ページを追加します。

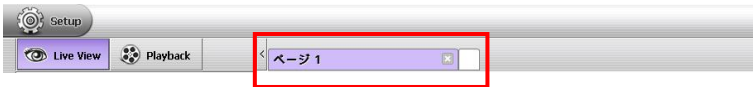


2. 新しいモニター ページでは、別の NVR サーバーのカメラをチャンネル画面にドラッグして監視できます。
3. モニター ページを削除するには、ページ タブの X をクリックします。






3.4.2 モニター ページの名前変更

1. モニター名 のテキスト (ページ 1) をクリックします。マウス カーソルが点滅します。
2. 次に、キーボードの削除キーまたはバックスペース キーを使用して、元の名前を削除して新しい名前を入力します。
3. 終了したら、画面 上の任意の場所をクリックして、ページ タブを離れます。



3.4.3 監視対象カメラのアイコン

監視対象チャンネル上にはいくつかのアイコンがあります。以下に説明します。

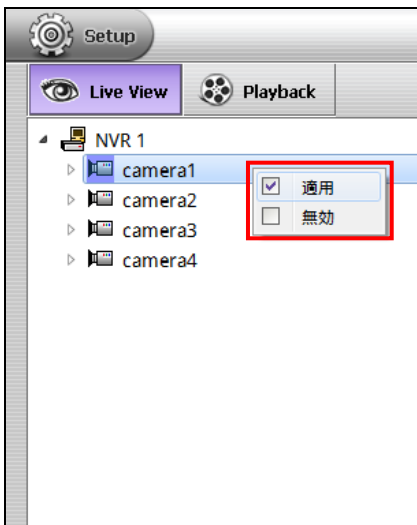
	NVR サイトの監視対象カメラのモーション録画ステータスを示します。 - 赤: NVR サイトの監視対象カメラはモーション録画中です。 - 灰色: NVR サイトの監視対象カメラはモーション録画中ではありません。
	監視対象カメラのライブ ビデオを即座に再生するには、これをクリックします。
	監視対象カメラのオーディオ再生を有効/無効にします。オーディオの再生を有効または無効にするには、このアイコンをクリックします。

3.4.4 監視対象チャンネルを有効/無効にする

[メモ] この操作は NVR サイトに適用されます。

カメラ リストで、カメラを有効/無効にすることができます。カメラを無効にすると、リモート NVR サイトでモニター機能と録画機能が両方とも無効になります。CMS では、カメラのライブ ビデオを表示できなくなります。

カメラ リスト セクションを右クリックして、[適用] または [無効] を選択します。

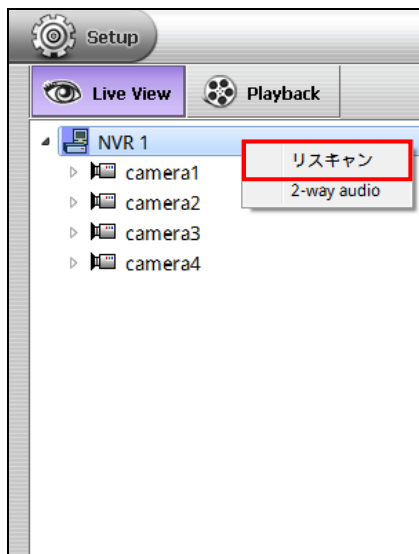


3.4.5 リモート NVR サーバーのステータスを更新

[メモ] この機能は、ライブビュー モードで使用できます。

更新機能で、リモート NVR サーバーのステータスを即座に更新できます。

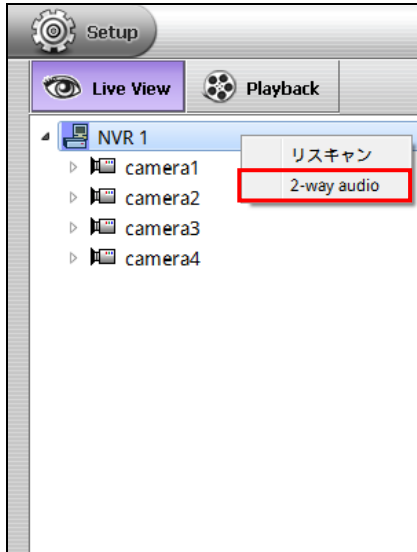
カメラ リスト セクションで NVR サーバー名 (例: NVR 1) を右クリックして、[リスキャン] を選択します。



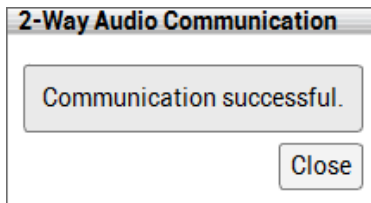
3.4.6 2 方向オーディオ機能の使用

[メモ] 本機ではサポートしていません。

2 方向オーディオ機能で、スピーカーとマイクを通して、リモート NVR サイトに話しかけることができます。カメラ リスト セクションで NVR サーバー名を右クリックして、[2-way audio (2 方向オーディオ)] を選択します。




正常に接続されると、通信の成功を示すメッセージ ダイアログが画面に表示されます。[Close (閉じる)] ボタンをクリックすると接続を切断できます。



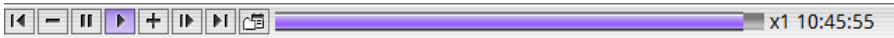
- [メモ]
1. 接続できない場合は、CMS を実行している PC にスピーカーとマイクが正しく設置されていることを確認してください。
 2. リモート NVR サーバーが 2 方向オーディオで他のデバイスに接続されている場合も、接続は失敗します。









3.5 ライブビュー モードでの再生

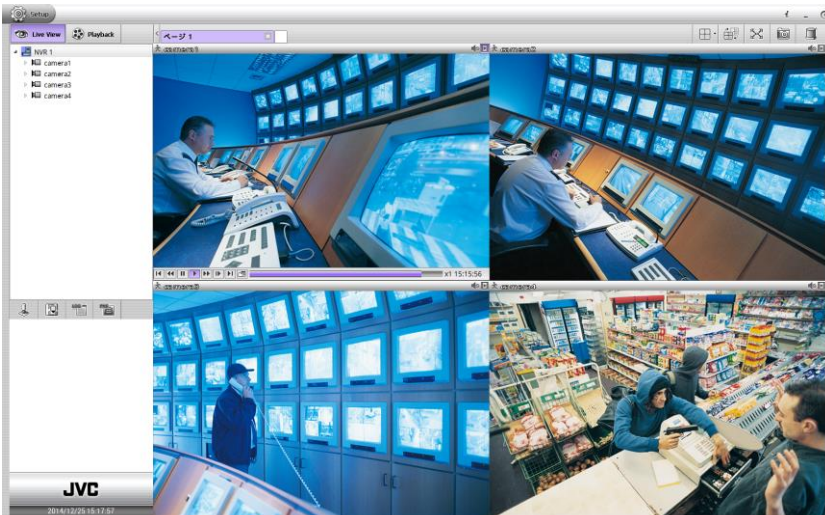
ライブビュー モードでリモート NVR サーバー上の録画ビデオを即座に再生するには、 アイコンをクリックします。同時に複数のチャンネルを再生できます。

チャンネル画面上でマウス カーソルを動かすと、再生ツールバーが表示されます。これを使用して再生ステータスをコントロールします。

■ 再生ツールバー



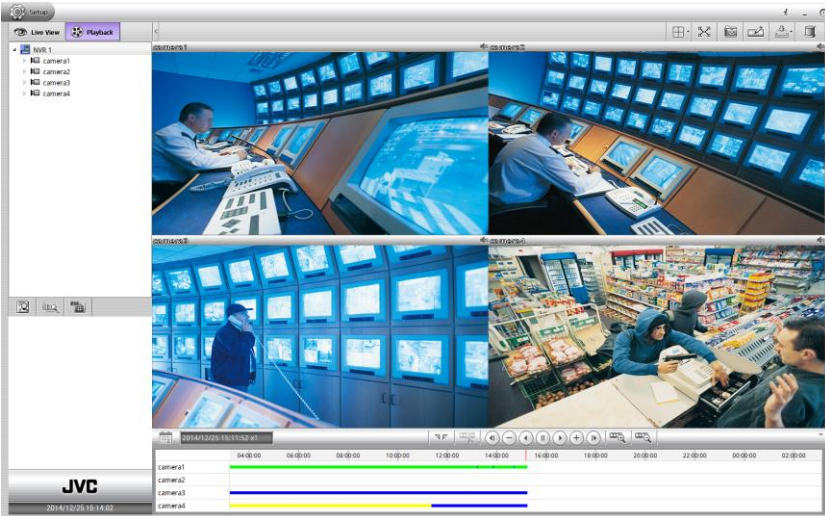
ボタン	機能
	ビデオの先頭に移動します。
	1/2 倍、1/4 倍、または 1/8 倍の速度で録画ビデオ ファイルを再生します。
	録画ビデオの再生を一時的に停止します。
	録画ビデオを再生します。
	2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍、64 倍の速度で録画ビデオ ファイルを再生します。
	次のフレームに移動します。
	ビデオの最後に移動します。
	カレンダーを呼び出して、再生の日時を選択します。



3.6 再生モードでの再生

CMS では、リモート NVR サーバーで録画された、監視対象チャンネルの録画ビデオを視聴できます。

1. **【Playback (再生)】** タブをクリックします。
2. 再生モードでは、CMS はリモート NVR サーバーの録画ビデオの再生を開始します。リモート NVR サーバーが録画していない場合は、再生する録画ビデオはありません。
3. システムが再生モードに切り換わると同時に、すべてのモニター ページが再生されます。



3.7 デジタル PTZ 機能

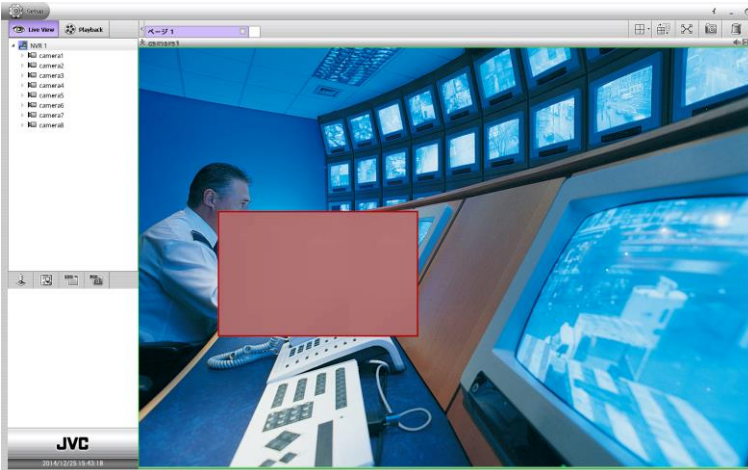
[メモ] この機能は、ライブビュー モードおよび再生モードの両方で使用できます。ここではライブビュー モードに基づいて説明します。

デジタル PTZ 機能を使用すれば、選択された領域を拡大して視聴することができます。

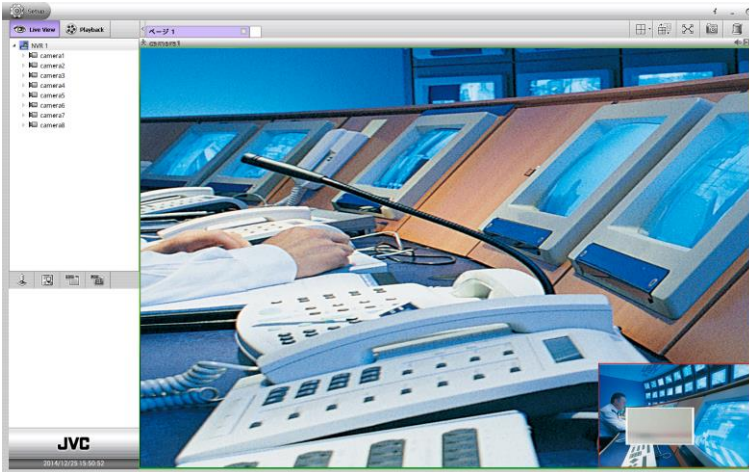
1. チャンネル画面を右クリックして、**[デジタル PTZ]** をオンにしてデジタル PTZ 機能を有効にします。



2. デジタル PTZ を有効にすると、カーソルが十字に代わり、拡大表示する領域を選択できます。



3. 選択した領域が拡大され、サブウィンドウが画面の右下に表示されます。サブウィンドウの灰色のフレームを移動して、画面の他の領域を拡大ビューに表示できます。



4. チャンネル画面を右クリックして、[Digital PTZ (デジタル PTZ)] をオフにすると、デジタル PTZ を無効にすることができます。チャンネル画面のビューは標準ビューに戻ります。

3.8 監視対象チャンネルの接続/切断

[メモ] この機能は、ライブビュー モードで使用できます。

監視対象チャンネルを右クリックして、[接続] をオフにし、接続を切断します。監視対象チャンネルが切断されると、ライブ ビデオは表示できません。ライブ ビデオ ビューを元に戻すには、[接続] をもう一度オンにします。



3.9 監視対象チャンネルのストリーミングを選択




[メモ] 本機ではサポートしていません。

画面チャンネルを右クリックして、監視対象チャンネルのストリーミングを選択できます。



3.10 チャンネルのサウンドを有効/無効にする

[メモ] この機能は、ライブビュー モードおよび再生モードの両方で使用できます。

オーディオ アイコン () をクリックして、チャンネルのサウンドをミュート () できます。サウンドをオンにするには、もう一度オーディオ アイコン () をクリックします。



オーディオ オフ



オーディオ オン

3.11 複数画面を単一画面表示に切り換え

[メモ] この機能は、ライブビュー モードおよび再生モードの両方で使用できます。ここではライブビュー モードに基づいて説明します。

複数画面表示モードでは、チャンネル画面をダブルクリックすると、単一表示画面モードに切り換えることができます。チャンネル画面をもう一度ダブルクリックすると、画面表示は複数画面表示モードに戻ります。



ライブビュー モード




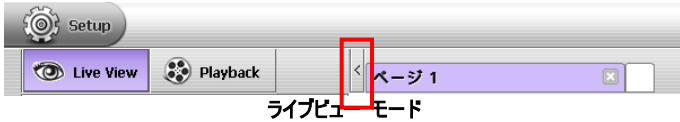
ライブビュー モード


3.12 カメラ リスト セクションを非表示にする

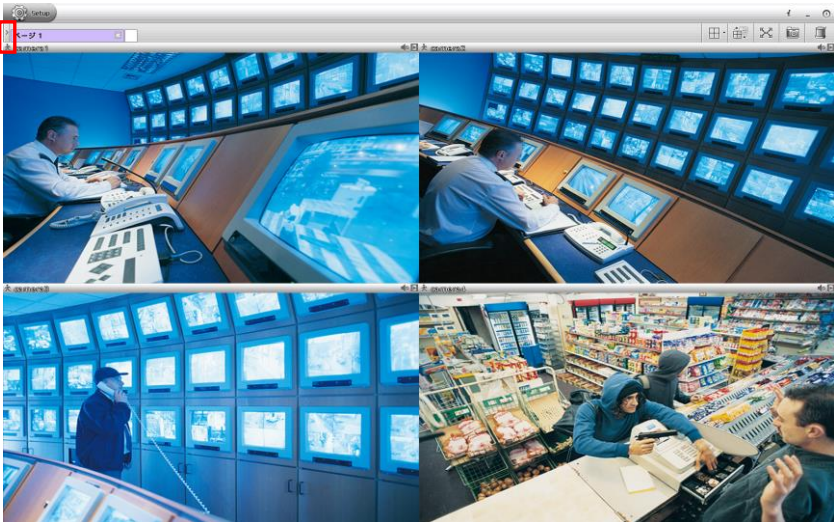
[メモ] この機能は、ライブビュー モードおよび再生モードの両方で使用できます。ここではライブビュー モードに基づいて説明します。

カメラ リスト セクションを非表示にして、画面の表示を大きくすることができます。

ライブビュー モード/再生モードで、ライブビュー タブの横にある  アイコンをクリックすると、カメラ リストが非表示になります。



カメラ リストをもう一度表示するには、 アイコンをクリックします。




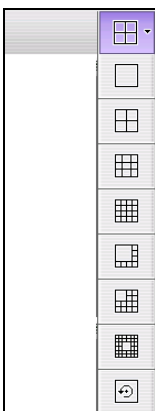
ライブビュー モード

3.13 画面チャンネル表示モード

[メモ] この機能は、ライブビュー モードおよび再生モードの両方で使用できます。

CMS には次の 7 種類の画面表示モードがあります: 1 画面 (□)、4 画面 (田)、9 画面 (九宮)、16 画面 (四宮)、8 画面 (二行四列)、13 画面 (三行四列)、36 画面 (六行三列)。画面表示モードを選択するには、画面表示アイコンをクリックします。

既定の画面モードにリセットするには、 を選択します。監視対象カメラがすべてクリアされます。



第 4 章 CMS の使用

CMS は、ライブビュー、再生、およびセットアップ モードの 3 つの部分に分かれます。各モードの機能を以下に説明します。

4.1 ライブビュー モードの機能について

ライブビュー モードでは、リモート NVR サーバーのカメラを監視し、ログ、PTZ、E-マップ、およびスクリーンショット機能を操作します。




名前

機能

- | | |
|-------------------|---|
| (1) Playback(再生) | 再生モードに切り換えます。これにより、録画ビデオ ファイルを視聴できます。 |
| (2) Setup(セットアップ) | [Setup (セットアップ)] ボタンをクリックして、カメラ、録画、ネットワーク、スケジューラー、バックアップ、センサー、リレー、アラーム、およびユーザー認証を設定できます (第 6 章を参照)。 |
| (3) Live(ライブビュー) | ライブビュー モードに切り換えます。これにより、ライブ カメラ ビデオを視聴できます。 |
| (4) カメラ リスト | NVR のすべてのカメラをリストします。リストを展開するには、+ をクリックします。カメラをビデオ表示領域にドラッグして、モニター レイアウトを調整します。 |
| (5) PTZ | PTZ セットアップ ダイアログを表示して、目的の PTZ カメラを設定します (第 4.1.2 章を参照)。 |

名前**機能**

- | | |
|-------------------|---|
| (6) E-マップ | 最大 8 個の E-マップを *.JPG and *.PNG イメージ フォーマットで読み込み、カメラ、センサー、リレーを目的の位置に配置します (第 4.1.1 章を参照)。 |
| (7) イベント ログ ビューアー | システム内で発生するアクティビティの記録を検索および表示します (第 4.4.1 章を参照)。 |
| (8) POS ログ ビューアー | 本機ではサポートしていません。(第 4.4.3 章を参照)。 |
| (9) 日時 | 現在のシステムの日時を表示します。 |
| (10) 分割画面モード | 7 種類の分割表示モードが用意されています。分割モード アイコンをクリックして、分割表示モードを選択できます。監視対象カメラをすべてリセットするには、  を選択します。すべてのカメラ チャンネルがクリアされます。 |



複数画面モードでビデオを 1 つだけ表示するには、表示するビデオ画面を**ダブルクリック**します。

- | | |
|--------------|---|
| (11) オートスキャン | 各チャンネルの自動巡回表示を開始するには、これをクリックします。 |
| (12) フルスクリーン | 画面の全体を使用して、ビデオのみを表示します。元に戻すには、マウスの右ボタンを押すか、キーボードの ESC を押すか、矢印アイコンをクリックします。 |



- | | |
|----------|-------------------------------|
| (13) 情報 | CMS のバージョンを表示するには、これをクリックします。 |
| (14) 最小化 | CMS を最小化してシステム トレイに入れます。 |

名前**機能**

(15) 電源ボタン

[電源] ダイアログ ボックスを表示します。

[電源] ダイアログ ボックスで、以下を行うことができます。

電源

ユーザーID

レベル

終了 コンパクト ログイン キャンセル

- **終了:** CMS をシャットダウンします。
- **簡易:** 簡易モードに切り換えます (第 4.3 章を参照)。
- **キャンセル:** [電源] ダイアログ ボックスを閉じます。

(16) アラーム


[アラーム ログ] ボタンをクリックして、アラーム イベントを表示および検索します (第 4.4.2 章を参照)。

(17) スナップショット


静止した録画イメージをキャプチャし、JPG または PNG ファイルで USB メモリー デバイスに保存します (第 4.5 章を参照)。

4.1.1 E-マップ設定

最大 64 個のマップを *.jpg および *.PNG フォーマットで維持できます。マップは階層構造になっており、別のマップにマップを追加することができます。また、マップに NVR アイコンを追加できます。

1. ライブビュー モードで  (E-マップ) アイコンをクリックします。
2. E-マップ ダイアログ ボックスがライブビュー画面の左下に表示されます。





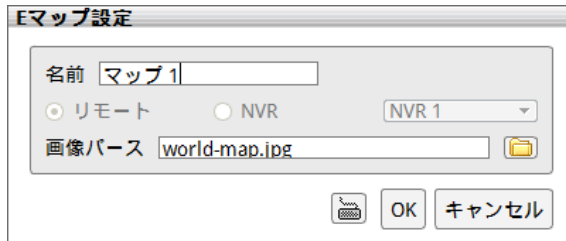
3. E-マップ ダイアログ ボックスで  アイコンをクリックして、ライブビュー画面に E-マップ ダイアログ ボックスを展開します。
4. **[編集]** ボタンをクリックして、E-マップ セットアップ モードに切り換えます。



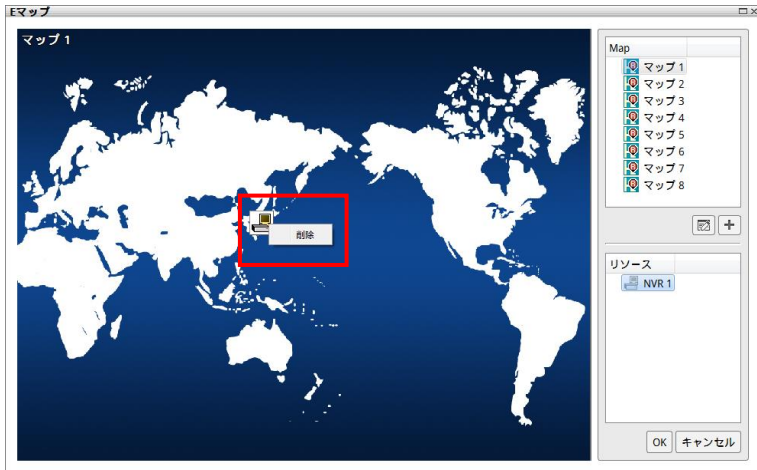
5. セットアップ対象のマップ番号 (1 ~ 8) をクリックします。








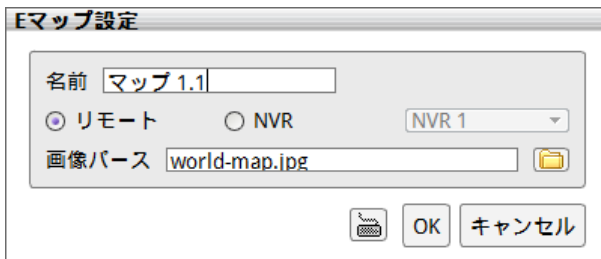
6. 次に、 アイコンをクリックして E-マップの名前を設定して、マップ図を読み込みます。[E マップ設定] ダイアログ ボックスが表示されます。ファイルを開くアイコン () をクリックして、マップを見つけて選択します。[名前] フィールドにこの E-マップの名前を入力します。[OK] をクリックして、設定を保存します。




7. 挿入されたマップが E-マップ画面に表示されます。これで、NVR アイコンをマップ上の場所にドラッグできます。マップ上のアイコンは、どこにでも場所を変更できます。マップ上のアイコンを他の領域に移すには、[編集] ボタンをクリックして、E-マップ上の NVR アイコンを右クリックし、[削除] をクリックして、NVR アイコンをリソース リストに戻します。




8. また、マップの下にマップ レイヤーを追加できます (マップ 1 ~ 8)。マップ (マップ 1 ~ 8) を選択して、 アイコンをクリックし、選択したマップの下にマップ レイヤーを追加します。新しいマップ レイヤーの名前を入力します。[E-マップ設定] ダイアログ ボックスで、[リモート] を選択してマップを追加して CMS サイトに保存し、NVR を選択して、マップ上にリモート サイトのマップを配置します。次に、 をクリックして、マップ イメージ ファイルを選択して挿入します。[OK] をクリックして、設定を保存します。
-  マップ アイコンは、リモート NVR サーバーのマップを表します。 マップ アイコンは、CMS のマップを表します。マップを編集するには、マップ レイヤーを選択して  アイコンをクリックします。



9. 挿入されたマップがマップ リストに表示されたら、マップ上のどこにでもマップ アイコンを配置できます。マップ アイコンをダブルクリックして、マップ レイヤーを切り換えます。マップ レイヤーを削除するには、マップ レイヤーを選択して、 ボタンをクリックし、マップ レイヤーを削除します。セットアップが完了したら、**[OK]** をクリックして設定を保存します。



10. E-マップ モードを終了するには、 アイコンをクリックします。
11. アラームが発生すると、マップ上のアイコンが点滅ステータスに変わります。



12. マップ上で NVR アイコンを右クリックして、リモート NVR サーバーのアラームをリセットします。




13. また、E-マップ上の NVR アイコンを右クリックして、リモート NVR サーバーのライブ ビデオを視聴できます。



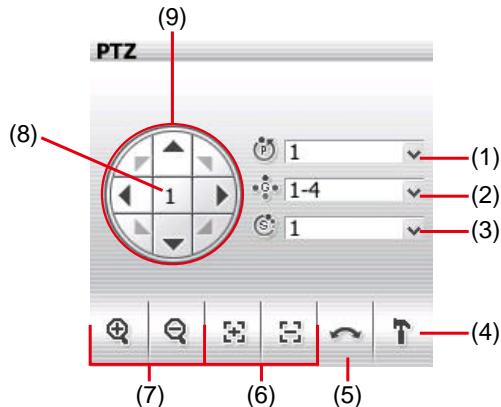
4.1.2 PTZ コントロール パネルの使用

ライブビュー モードで PTZ コントロール パネルから PTZ カメラをコントロールできます。PTZ カメラを有効にしてセットアップします。

1. PTZ 機能を有効にしたカメラを選択します。
2. 次に、 (PTZ) アイコンをクリックして、ライブビュー モードで [PTZ 操作] を表示します。



3. PTZ コントロール パネルの機能の説明は以下のとおりです。



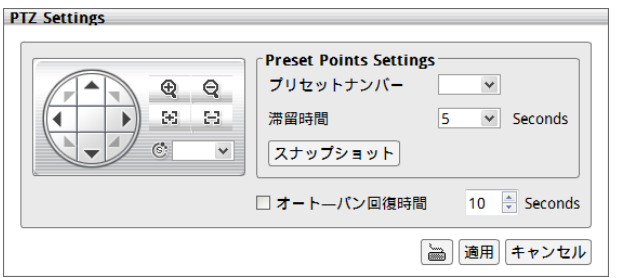
名前

機能

(1) プリセットナンバー

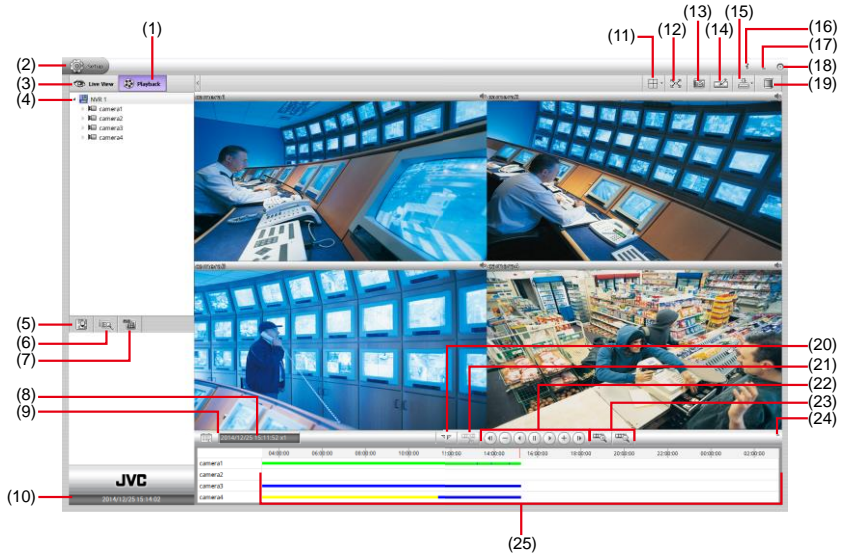
PTZ カメラをプリセットの位置に移動します。

ご注意: プリセットポジションに移動し、(9)方向ボタンを操作した場合、同じ番号のプリセットポジションへは戻りません。この場合、別のプリセットポジション番号を選択した後に選択しなおしてください。

名前	機能
(2) オートパングループ	PTZ カメラをグループで自動的に操作します。
(3) パン速度	PTZ カメラ レンズの移動速度を調節します。この速度は、(9) 方向ボタンの移動速度のみに適用されます。
(4) PTZ 設定	PTZ 設定 ウィンドウを表示します。PTZ 機能は、カメラ設定内の PTZ 設定と同じです。
	
(5) オートパン (オートパトロール)	選択されたカメラ グループのプリセット位置番号に基づいて自動的に PTZ カメラを操作します。(2) オートパングループ を選択してから、(5) オートパン ボタンをクリックする必要があります。
(6) ズーム +/-	イメージを拡大および縮小します。
(7) フォーカス +/-	鮮明なイメージにするために手動でフォーカスを調節します。
(8) カメラ ID	操作中の PTZ カメラ番号を表示します。
(9) 方向ボタン	PTZ カメラのパン/チルトを操作します。方向ボタンのサポートは、PTZ カメラに依存します。

4.2 再生モードの機能について

[**playback (再生)**] タブをクリックして、再生モードに切り換えます。



名前

機能

- | | |
|-------------|--|
| (1) 再生 | 再生モードに切り換えます。これにより、監視対象カメラの録画ビデオを視聴できます。 |
| (2) セットアップ | [Setup (セットアップ)] ボタンをクリックして、カメラ、録画、ネットワーク、スケジューラー、バックアップ、センサー、リレー、アラーム、およびユーザー認証を設定できます (第 6 章を参照)。 |
| (3) ライブビュー | ライブビュー モードに切り換えます。これにより、ライブ カメラ ディスプレイを表示できます。 |
| (4) カメラ リスト | NVR のすべてのカメラをリストします。リストを展開するには、+ をクリックします。 |
| (5) E-マップ | 最大 8 個の E-マップを *.JPG and *.PNG イメージ フォーマットで読み込み、カメラ、センサー、リレーを目的の位置に配置します (第 4.1.1 章を参照)。 |
| (6) 検索 | CMS は、再生モードで以下の 2 種類の検索をサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> - イベント検索: センサー、モーション、ビデオ損失などのイベント ログに記載されたアクティビティを検索します (第 4.2.1 章を参照)。 - ビジュアル検索: 日付、時間、分、10 秒、秒で特定のカメラを検索します (第 4.2.2 章を参照)。 |

名前**機能**

(7) POS ログ ビューアー

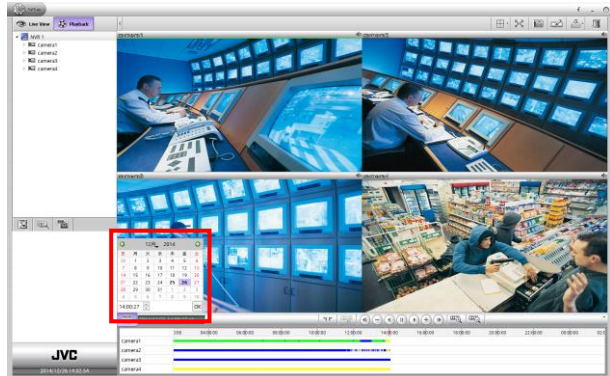
本機ではサポートしておりません。

(8) セントラルタイム

録画された日付、時刻、再生速度を表示します。

(9) 日付/時刻で検索

録画ビデオ ファイルの再生を開始する、カレンダーの日付と時刻を選択します。



- **日付:** カレンダー上の日付をクリックして選択します。太字の日付は、録画ファイルがあることを示します。🕒 アイコンおよび 🕒 アイコンをクリックして日付を切り換えます。または、月の隣の ▼ アイコンをクリックして月を選択します。年を切り換えるには、年のテキストをクリックして、スピン ボタンをクリックして選択します。
- **時刻:** 時刻ボックスで、時、分、秒を選択して、再生開始時刻を設定します。




(10) 日時

現在の日時を表示します。

名前**機能**

(11) 分割画面モード

7種類の分割画面タイプから選択して、単一画面に他のカメラに重ねて、または並べて1つのカメラの録画ビデオファイルを再生するか、すべてのカメラの録画ビデオファイルを再生します。監視対象カメラをすべてリセットするには、を選択します。すべてのカメラチャンネルがクリアされます。



複数画面モードでビデオを1つだけ表示するには、表示するビデオ画面を**ダブルクリック**します。

(12) フルスクリーン

画面の全体を使用して、ビデオのみを表示します。元に戻すには、キーボードの **ESC** を押すか、矢印アイコンをクリックします。



複数画面モードで全画面に切り換えるときは、左クリックして、複数画面モードでビデオを1つだけ表示するか、すべて表示するかを切り換えます。

(13) スナップショット

静止した録画イメージをキャプチャし、*.JPEGまたは*.PNGファイルでメモリーデバイスまたはローカルハードディスクドライブに保存します。

([第 4.5 章](#) を参照)。

(14) ブックマーク

録画ビデオファイルを再確認するときに後で戻れるように、参照点をマークします ([第 4.2.3 章](#) を参照)。

(15) バックアップ

再生ファイルを USB メモリーまたはローカルハードディスクに保存します。
([第 4.2.4 章](#) を参照)。

(16) 情報

CMS のバージョンを表示します。

(17) 最小化

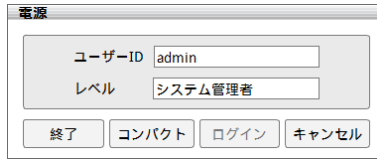
CMS を最小化します。

名前**機能**

(18) 電源ボタン


[電源] ダイアログボックスを表示します。


[電源] ダイアログボックスで、以下を行うことができます。




- **終了**: CMS をシャットダウンします。
- **コンバクト**: 簡易モードに切り換えます。(第 4.3 章 を参照)
- **キャンセル**: [電源] ダイアログ ボックスを閉じます。

(19) アラームログビューアー

 ボタンをクリックして、アラームイベントログを表示および検索します。
(第 4.4.2 章 を参照)








(20)  (セグメント)

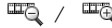
録画ビデオの一部を保持して再生を繰り返します。セグメントビデオをメモリーデバイスに出力することもできます。

 ボタンをクリックして、セグメントビデオを設定します。三角マークをドラッグしてビデオセグメントを設定します。(第 4.2.6 章 を参照)

(21) セグメントビデオファイルを*.avi フォーマットで保存します。
(第 4.2.6 章 を参照)(22) 再生コントロール
ボタン

左から右の順:

-  **Previous (前へ)**: 前のフレームに戻ります。
-  **Slower (低速)**: 1/2 倍、1/4 倍、または 1/8 倍の速度で録画ビデオファイルを再生します。再生速度は画面に表示されます。
-  **巻き戻し**: 録画ビデオファイルを巻き戻します。
-  **Pause (一時停止)**: 録画ビデオファイルの再生を一時的に停止します。
-  **Play (再生)**: 録画ビデオファイルを再生します。
-  **Faster (高速)**: 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍、64 倍の速度で録画ビデオファイルを再生します。再生速度は画面に表示されます。
-  **Next (次へ)**: 次のフレームに移動します。

(23) 
(縮小/拡大)

再生時間バーを時間から分に拡張します。



名前**機能**

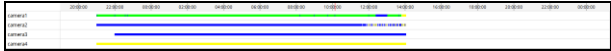
(24) 最小化

これをクリックして、進捗バーを閉じます。開くにはもう一度クリックします。

(25) 進捗バー

再生中のファイルの進捗を表示します。バーを動かして、トラックの位置に移動することができます。

拡大/縮小ボタン( / )を使用して、再生時間を時間から分に拡張します。





進捗バーの色:


- 赤: センサー録画
- 緑: モーション録画
- 青: 常に録画 (標準録画)
- 黄: ビデオ損失
- 白: 録画データなし

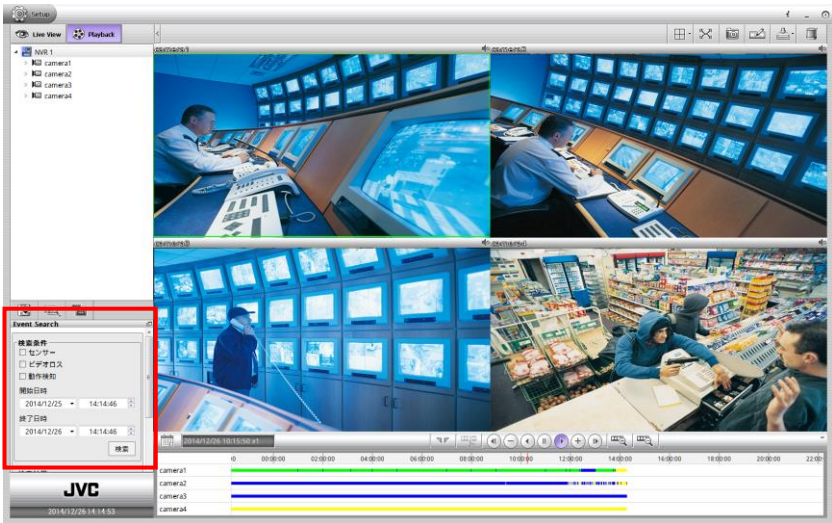
4.2.1 イベント検索の使用

再生モードで、イベント検索を使用して、再生する特定のイベントを検出します。

1. 検索するチャンネルを選択します。
2.  (検索) アイコンをクリックして、 (イベント検索) アイコンを選択します。[Event Search (イベント検索)] ダイアログボックスがサイド領域に表示されます。



 アイコンをクリックして、画面の上に [Event Search (イベント検索)] ダイアログボックスを展開します。



3. [Event Search (イベント検索)] ダイアログ ボックスで、検索する条件の種類を確認します。次に、[開始日時] および [終了日時] を設定します。
4. 次に、[検索] をクリックして検索を開始します。
5. イベントリストが表示されたら、表示するアイテムをクリックして選択します。センサーなど、すべてのイベントが再生できるわけではありません。

6. [Event Search (イベント検索)] ダイアログを閉じるには、 アイコンをクリックします。

検索条件

センサー ビデオロス 動作検知

開始日時 2014/12/25 14:14:46

終了日時 2014/12/26 14:14:46

検索

検索結果

No.	サーバー名	カメラ	タイプ	開始日時	終了日時
6	NVR 1	1	動作検知	2014/12/25 21:02:19	2014/12/25 21:02:20
7	NVR 1	1	動作検知	2014/12/25 21:02:43	2014/12/25 21:02:47
8	NVR 1	1	動作検知	2014/12/25 21:03:09	2014/12/25 21:03:10
9	NVR 1	1	動作検知	2014/12/25 21:03:24	2014/12/25 21:03:25
10	NVR 1	1	動作検知	2014/12/25 21:03:29	2014/12/25 21:03:30
11	NVR 1	1	動作検知	2014/12/25 21:03:38	2014/12/25 21:03:41
12	NVR 1	1	動作検知	2014/12/25 21:04:34	2014/12/25 21:04:35
13	NVR 1	1	動作検知	2014/12/25 21:04:58	2014/12/25 21:04:59
14	NVR 1	1	動作検知	2014/12/25 21:05:29	2014/12/25 21:05:31
15	NVR 1	1	動作検知	2014/12/25 21:05:54	2014/12/25 21:05:55
16	NVR 1	1	動作検知	2014/12/25 21:06:03	2014/12/25 21:06:04
17	NVR 1	1	動作検知	2014/12/25 21:06:14	2014/12/25 21:06:18
18	NVR 1	1	動作検知	2014/12/25 21:06:20	2014/12/25 21:06:20
19	NVR 1	1	動作検知	2014/12/25 21:06:30	2014/12/25 21:06:31
20	NVR 1	1	動作検知	2014/12/25 21:06:33	2014/12/25 21:06:35




さらに

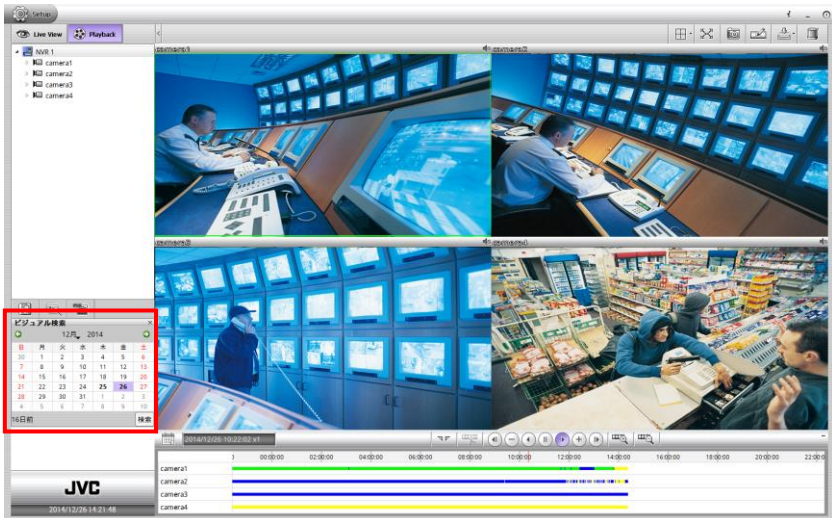
4.2.2 ビジュアル検索の使用

再生モードで、ビジュアル検索を使用して、再生する特定の時刻を検出します。

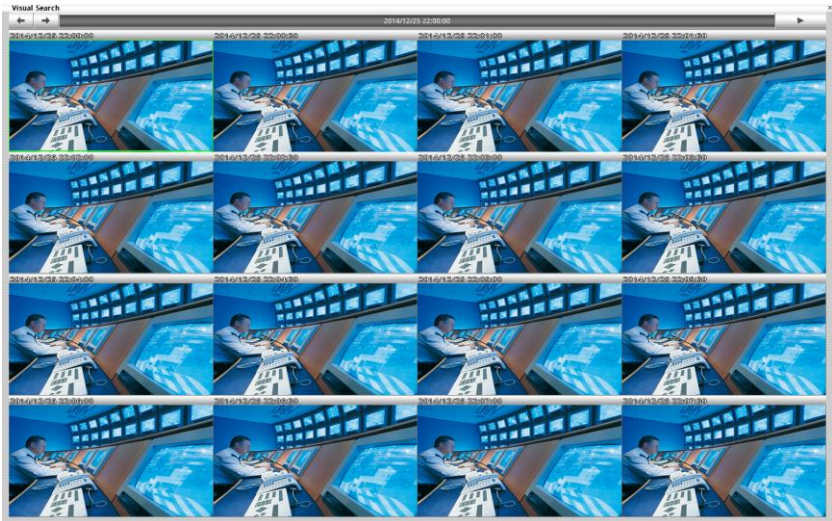
1.  (検索)アイコンをクリックして、 (ビジュアル検索)アイコンを選択します。

[ビジュアル検索]ダイアログ ボックスが領域の下に表示されます。

2. [ビジュアル検索]ダイアログで、日付を選択します。 アイコンおよび  アイコンをクリックして月を切り換えます。または、月の隣の  アイコンをクリックして月を選択します。年を切り換えるには、年のテキストをクリックして、スピンボタンをクリックして選択します。
3. 次に、スピンボタンをクリックして検索時間帯を時、分、秒でセットアップします。
4. 次に、[検索]をクリックして検索を開始します。



5. フレーム群が日付で表示されたら、別のフレーム群を表示するフレームをクリックして、その日付の 2 時間ごと、その時間の 8 分ごと、その分の 30 秒ごとで検索します。◀ と ▶ を使用して、時、分、秒ページに移動します。
6. 選択したビデオを再生するには、▶ ボタンをクリックします。




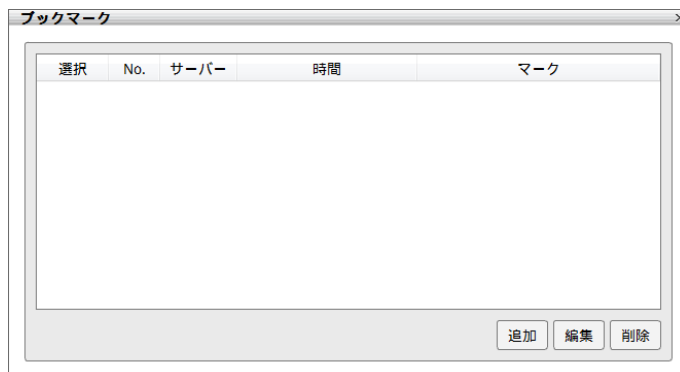
4.2.3 ビデオのセクションをブックマークするには

ビデオの特定の時刻のセクションをブックマークすることができます。

1. マウスを使用して再生時刻進捗バーを、ブックマークする時刻に動かします。



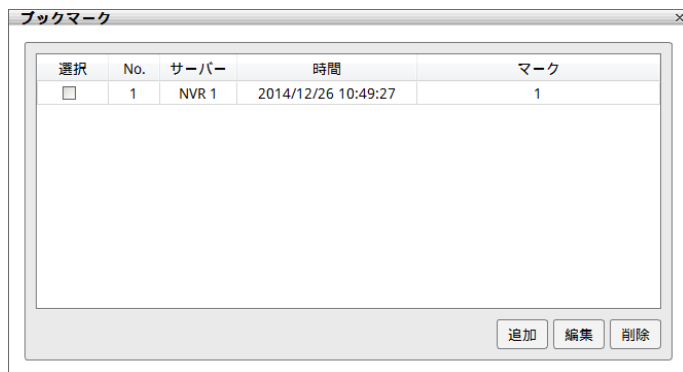
2. 次に、 アイコンをクリックします。[ブックマーク]ダイアログボックスが画面に表示されます。



3. [追加]ボタンをクリックして、ブックマークリスト内に新しい参照マークを作成します。マークの短い説明または名前を入力し、[適用]ボタンをクリックしてブックマークを保存します。[ブックマークエディター]ダイアログボックスを閉じるには、[キャンセル]ボタンをクリックします。



4. ブックマークリスト内の項目を選択してクリックし、ファイルを確認します。





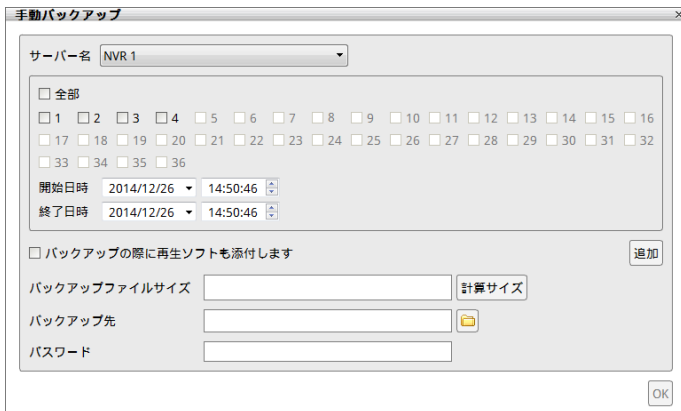
5. ブックマークを編集するには、ブックマークを選択して[編集]ボタンをクリックします。
6. ブックマークを削除するには、ブックマークを選択して[削除]ボタンをクリックします。
7. [ブックマーク]ダイアログボックスを閉じるには、 アイコンをクリックします。

4.2.4 再生ビデオのバックアップ

4.2.4.1 手動バックアップ

録画ファイルを外部 USB メモリーまたはローカルハードドライブにバックアップします。[手動バックアップ]ダイアログボックスで、別のチャンネルまたは時間帯を選択して、同時にバックアップすることができます。バックアップファイルは、バックアップ時にプレイヤーを含めるよう選択している場合に含まれる Qplayer アプリケーションを使用して PC 上で再生できます。PC 上でバックアップファイルを再生します。(第 4.2.5 章 を参照)

1. [Playback (再生)]タブをクリックして、再生モードに切り換えます。
2. [バックアップ] () ボタンをクリックして、[手動バックアップ] () を選択します。次に、[手動バックアップ]ダイアログボックスが表示されます。
3. [手動バックアップ]ダイアログボックスで、以下の設定を選択します。
 - **チャンネル:**バックアップするチャンネルを選択します。すべてのチャンネルを選択するには、[全部]をオンにします。
 - **日時の選択:**バックアップする日付と時間帯を選択します。
 - **バックアップの際に再生ソフトも添付します:**PC 上でバックアップ ファイルを再生するためのプレイヤーを含めます。
 - **バックアップファイル サイズ:**バックアップ ファイルの合計サイズを表示します。複数のバックアップ ファイルがある場合は、すべてのバックアップ ファイルの合計サイズになります。[計算サイズ]ボタンをクリックして計算します。
 - **バックアップ 先:**バックアップファイルの保存パスを選択します。
 - **パスワード:**バックアップファイルをパスワードで暗号化します。暗号化されたバックアップファイルでは、各時刻再生で設定したパスワードを入力する必要があります。パスワードを設定しない場合は、パスワードを空欄にした後、[OK]ボタンをクリックします。
4. バックアップファイル条件を選択した後、[OK]をクリックしてバックアップを開始します。



5. 複数の録画ファイル(異なるチャンネルおよび異なる時間帯)を同時にバックアップできます。上記の手順を繰り返してバックアップファイルを作成し、[追加]ボタンをクリックします。複数バックアップファイルの制限は、同時に3ファイルまでです。

手動バックアップ

サーバー名 NVR 1

全部
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32
 33 34 35 36

開始日時 2014/12/26 14:57:20
終了日時 2014/12/26 14:59:20

全部
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32
 33 34 35 36

開始日時 2014/12/26 14:57:20
終了日時 2014/12/26 14:59:20

全部
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32
 33 34 35 36

開始日時 2014/12/26 14:57:20
終了日時 2014/12/26 14:57:20

バックアップの際に再生ソフトも添付します

バックアップファイルサイズ 482 MB

バックアップ先 C:\Users\W000237\Desktop

パスワード ●●●●



6. すべてのバックアップファイルが作成されたら、[OK]ボタンをクリックして、USB メモリーまたはローカルハードディスクドライブに対して、選択したファイルのアーカイブ作成を開始します。

4.2.4.2 バックアップのスケジュール

選択した NVR サーバー、チャンネル、時刻でバックアップスケジュールを設定します。バックアップ操作は、スケジュールされた時刻に毎日実行されます。

スケジュールバックアップは以下のルールで動作します。

- 各 NVR サーバーは、一度に 1 つのスケジュールタスクのみをバックアップできます。
- CMS は、一度に 3 つのバックアップスケジュールタスク(異なる NVR サーバー)を実行できます。1 つのスケジュールタスクが完了すると、次のスケジュールタスクが開始します。
- バックアップスケジュールが完了すると、スケジュールタスクは[タスク処理中]リストから削除されます。
- 完了したスケジュールタスクはすべて[レポート]ページに表示されます。
- スケジュールタスクは次の場合に削除されます。
 - バックアップする録画データがない場合。
 - ネットワーク接続が切断されていた場合。
 - ユーザーがバックアップスケジュールを削除した場合。

1. [Playback(再生)]タブをクリックして、再生モードに切り換えます。
2. [バックアップ]()ボタンをクリックして、[スケジュールバックアップ]()を選択します。次に、[スケジュールバックアップ]ダイアログボックスが表示されます。

スケジュールバックアップ

タスク処理中 | スケジュール | 保存先設定 | レポート

バックアップ先

選択	場所	残容量	!用済みスペース:
----	----	-----	-----------

追加 削除

バックアップの略号化

パスワード

スペース管理

後で録画データを削除します 7 日

後でログデータを削除 30 日

上書き

適用 キャンセル

3. **保存パスを設定します。**バックアップスケジュールを設定する前に、保存パスを設定する必要があります。**[保存先設定]**タブを選択します。**[保存先設定]**ページで、**[追加]**ボタンをクリックして、保存パスの場所を指定して保存パスを追加します。保存パスは複数設定できますが、バックアップには少なくとも一つの保存パスが必要です。
- [保存先設定]**ページで、ログデータとハードディスクスペースの再利用をセットアップできます。**[適用]**をクリックして、設定を保存します。
- **後で録画データを削除します：**一定の経過日数後に自動的にデータを消去する場合は、**[後で録画データを削除します]**チェックボックスをオンにして、**[日]**テキストボックスに日数を入力します。
 - **後でログデータを削除：**一定の経過日数後に自動的にイベントとアラームデータを消去する場合は、**[後でログデータを削除]**チェックボックスをオンにして、**[日]**テキストボックスに日数を入力します。
 - **上書き：**ハードディスク容量がいっぱいのときに、古いデータからハードディスクを上書きするには、これをオンにします。
4. **バックアップ暗号化：**すべてのスケジュールバックアップファイルを暗号化できます。暗号化されたバックアップファイルでは、各時刻再生で設定したパスワードを入力する必要があります。暗号化を無効にするには、パスワードを削除して、**[適用]**ボタンをクリックします。

スケジュールバックアップ

タスク処理中 | スケジュール | **保存先設定** | レポート

バックアップ先

選択	場所	残容量	!用済みスペース
----	----	-----	----------

追加 削除

バックアップの暗号化

パスワード

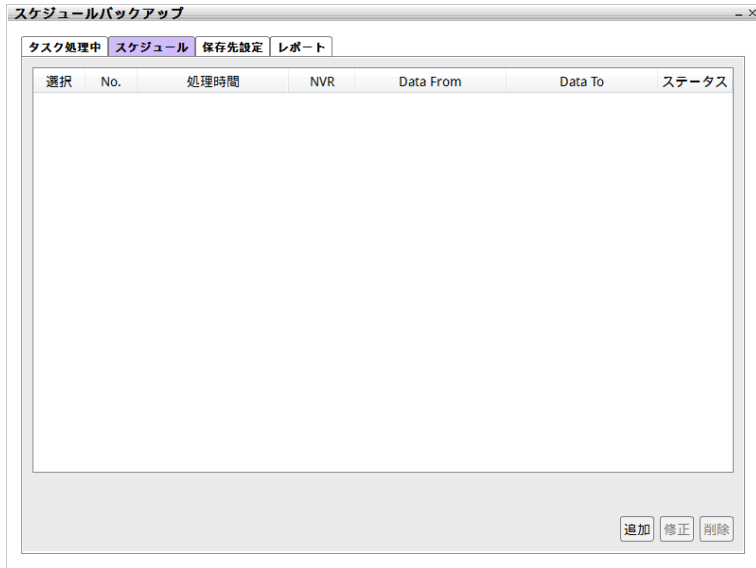
スペース管理

- 後で録画データを削除します 7 日
- 後でログデータを削除 30 日
- 上書き

適用 キャンセル

5. バックアップスケジュールを設定します。

[スケジュール]タブをクリックします。[スケジュール]ページで、[追加]ボタンをクリックしてバックアップスケジュールを設定します。



[Backup Task Setting(タスク設定)]ダイアログボックスで、時刻、NVR サーバー、カメラ、データ時刻、およびバックアップパスを選択します。[適用]をクリックして、バックアップ スケジュールを保存します。[キャンセル]をクリックして、[スケジュール]ページに戻ります。

- **サーバー名:**バックアップする NVR サーバーを選択します。

Backup Task Settings

サーバー名

カメラ

全部

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32
 33 34 35 36

バックアップ時間

適用 無効

00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

注意：バックアップ機能は毎日設定された時間に起動し、前日のデータをバックアップします

バックアップが中断された場合バックアップを再開します

Qplayerをダウンロード

バックアップ先

データバックアップ期間

適用 無効

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日曜日																								
月曜日																								
火曜日																								
水曜日																								
木曜日																								
金曜日																								
土曜日																								

- **カメラ**:バックアップする NVR サーバーのカメラ チャンネルを選択します。
- **バックアップ時間**: [適用]ラジオボタンをクリックして、時間(00 ~ 23)をクリックし、バックアップする時間を選択します。選択した時間に毎日バックアップされます。
- **バックアップが中断された場合バックアップを再開します**:バックアッププロセスが中断されたとき。バックアップタスクは、処理中タスクリストの下部に移動し、もう一度処理されるまで待機します。バックアップは、以下の条件を除き、5回再開されます。
 - a. バックアップスケジュールが削除されている。
 - b. バックアップタスクが削除されている。
 - c. 保存パスが削除されている。
 - d. リモート NVR サーバーに録画データがない。
 - e. リモート NVR サーバーが削除されている。
 - f. バックアップタスクが 5回再開されている。
- **QPlayer をダウンロード**:バックアップ時に Qplayer アプリケーションを含めます。

- **バックアップ先**:バックアップデータを保存するための保存パスを選択します。保存パスは、バックアップスケジュールをセットアップする前に設定する必要があります。
- **データバックアップ期間**:毎週のバックアップ時間を選択します。[週間表記]ボタンをクリックして、一週間のバックアップスケジュールを表示します。

Weekly View

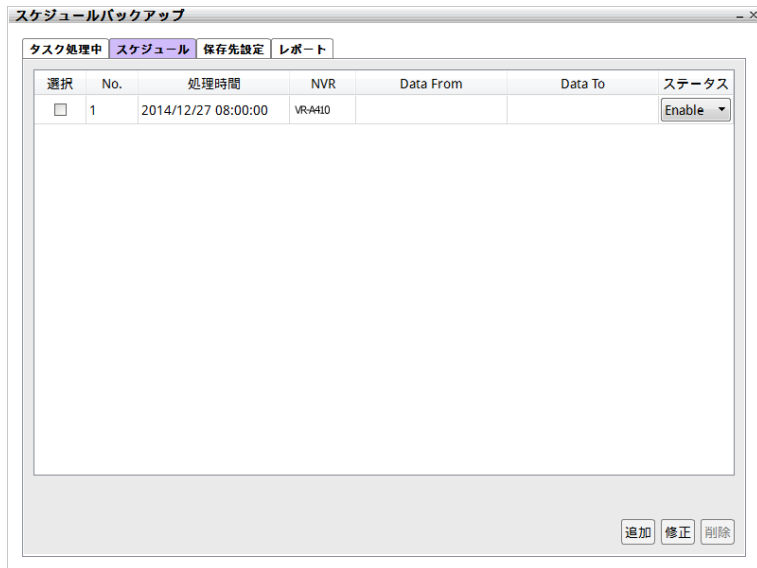
05/13 バックアップ時間																								
00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
05/12 データバックアップ期間																								
00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
05/14 バックアップ時間																								
00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
05/13 データバックアップ期間																								
00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
05/15 バックアップ時間																								
00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
05/14 データバックアップ期間																								
00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
05/16 バックアップ時間																								
00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
05/15 データバックアップ期間																								
00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	

クローズ

[スケジュール]ページですべてのバックアップスケジュールを表示できます。バックアップスケジュールを編集するには、スケジュールを選択して[修正]ボタンをクリックします。[削除]ボタンをクリックして、選択したスケジュールをスケジュールリストから削除します。



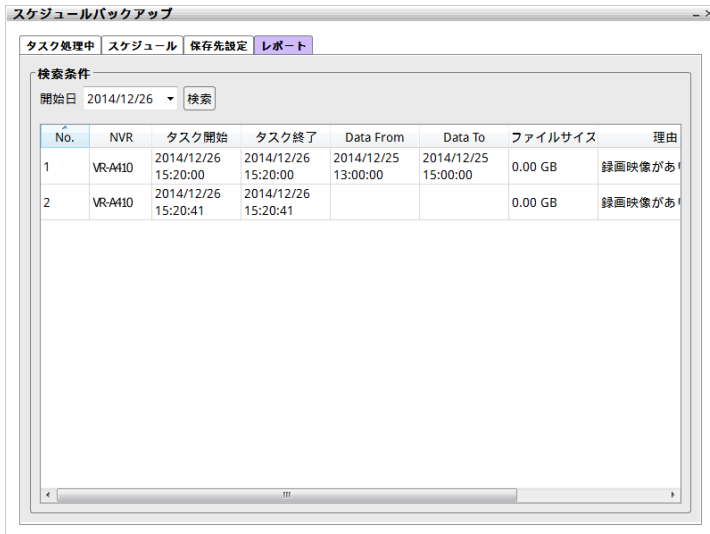
スケジュールステータスが[Disable(無効にする)]になっていると、バックアップスケジュールを実行できません。ドロップダウンリストをクリックして、[Enable(有効にする)]を選択してください。



6. [タスク処理中] ページで、処理中のバックアップスケジュールタスクをすべて表示できます。スケジュールタスクが完了すると、スケジュールタスクは[タスク処理中]リストから削除されます。処理中スケジュールタスクをダブルクリックしてスケジュールの詳細情報を表示できますが、スケジュールを修正することはできません。



7. [レポート] ページで、完了したバックアップスケジュールタスクをすべて表示できます。



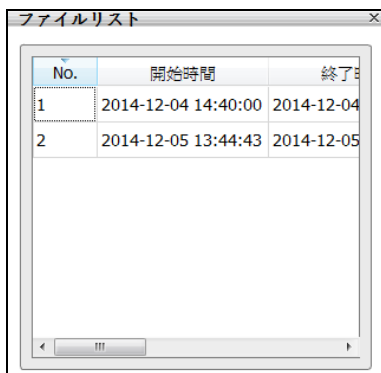
4.2.5 QPlayer を使用してバックアップファイルを再生

PC 上で QPlayer アプリケーションを使用して、バックアップファイルを再生できます。録画ファイルをバックアップするときに[バックアップの際に再生ソフトも添付します]を有効にしている場合は、録画ファイルをバックアップすると、QPlayer アプリケーションが自動的にバックアップフォルダーに含まれます。QPlayer を使用すれば、再生モードと同じように操作できます。さまざまな分割画面タイプをサポートしており、すべてのビデオを同時に表示できます。

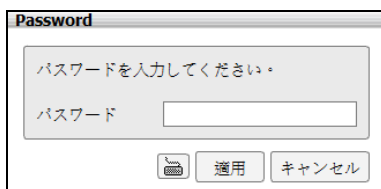
アプリケーションを実行するには、バックアップフォルダーに移動し、Qplayer フォルダーを選択して、**Qplayer.exe** をダブルクリックします。

4.2.5.1 Qplayer の機能について

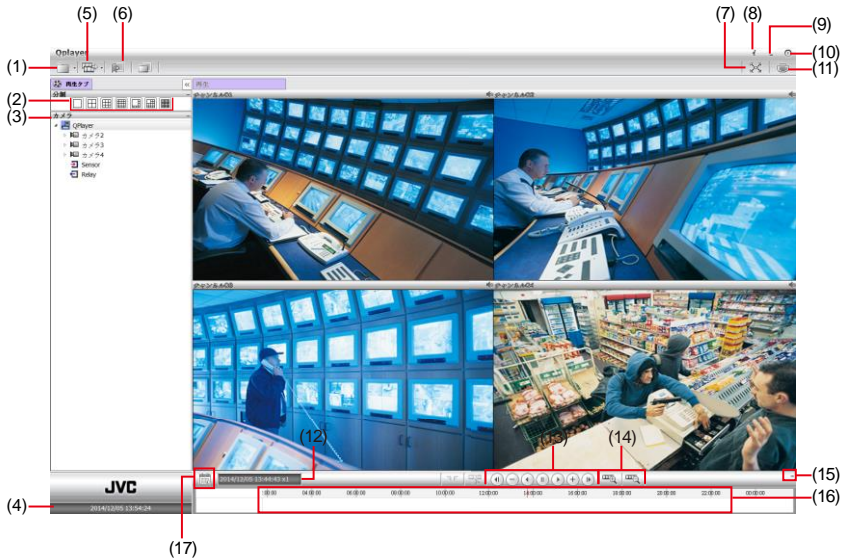
Qplayer メイン UI で、[ファイル] (📁) > [ファイルを開く] をクリックして、バックアップファイルフォルダーを選択します。[ファイルリスト] ダイアログボックスが表示されます。[ファイルリスト] ダイアログボックスで、再生するファイルをダブルクリックして、選択したファイルの再生を開始します。



バックアップファイルが暗号化されている場合は、パスワードダイアログが表示されます。設定したパスワードを入力してください。



Qplayer の機能の説明は以下のとおりです。



名前

機能

- | | |
|-------------|---|
| (1) ファイル | バックアップファイルを開くには、これをクリックします。 |
| (2) 分割画面モード | 7種類の分割画面タイプから選択して、単一画面に他のカメラに重ねて、または並べて1つのカメラの録画ビデオ ファイルを再生するか、すべてのカメラの録画ビデオファイルを再生します。 |



複数画面モードでビデオを1つだけ表示するには、表示するビデオ画面を**ダブルクリック**します。

- | | |
|------------|--|
| (3) カメラリスト | すべてのカメラをリストします。リストを展開するには、+ をクリックします。カメラを選択して目的のチャンネル位置にドラッグできます。 |
| (4) 日時 | 現在の日時を表示します。 |
| (5) エクスポート | エクスポート機能には、スナップショットと印刷の2つの種類があります。 <ul style="list-style-type: none"> - スナップショット: 現在の画面の静止画像をキャプチャして、ローカルハードディスクに*.JPEG または*.PNG ファイルとして保存します。 - 印刷: 現在の Qplayer 画面を印刷します。 |
| (6) ブックマーク | 録画ビデオファイルを再確認するときに後で戻れるように、参照点をマークします。(第 4.2.5.2 章 を参照) |

名前

機能

(7) 全画面

画面の全体を使用して、ビデオのみを表示します。元に戻すには、キーボードの **ESC** を押すか、矢印アイコンをクリックします。



複数画面モードで全画面に切り換えるときは、左クリックして、複数画面モードでビデオを 1 つだけ表示するか、すべて表示するかを切り換えます。

(8) システム情報

Qplayer のバージョンと著作権を表示するには、これをクリックします。

(9) 最小化

Qplayer を最小化してタスク トレイに入れます。

(10) 電源ボタン

[電源] ダイアログボックスを表示します。

[電源] ダイアログボックスで、以下を行うことができます。



- **終了:** Qplayer をシャットダウンします。
- **キャンセル:** [電源] ダイアログボックスを閉じます。

(11) オンスクリーンキーボード

キーボードを使用できない場合に、仮想キーボードを使用できます。

(12) ステータスバー



録画された日付、時刻、再生速度を表示します。

名前**機能**

(13) 再生コントロールボタン

左から右の順:

- ◀ **コマ戻し**: 前のフレームに戻ります。
- ⊖ **速度を下げる**: 1/2 倍、1/4 倍、または 1/8 倍の速度で録画ビデオファイルを再生します。再生速度は画面に表示されます。
- ◀ **逆再生**: 録画ビデオ ファイルを巻き戻します。
- ⏸ **一時停止**: 録画ビデオファイルの再生を一時的に停止します。
- ▶ **再生**: 録画ビデオファイルを再生します。
- + **速度を上げる**: 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍、64 倍の速度で録画ビデオファイルを再生します。再生速度は画面に表示されます。
- ▶ **コマ送り**: 次のフレームに移動します。

(14)  / 
(縮小/拡大)

再生時間バーを時間から分に拡張します。

(15) 最小化

これをクリックして、進捗バーを閉じます。開くにはもう一度クリックします。

(16) 進捗バー

再生中のファイルの進捗を表示します。バーを動かして、トラックの位置に移動することができます。
拡大/縮小ボタンを使用して、再生時間を時間から分に拡張します。

進捗バーの色

- 赤: センサー録画
- 緑: モーション録画
- 青: 常に録画 (標準録画)
- 黄: ビデオ損失
- 白: 録画日付なし

(17) セントラルタイムの設定

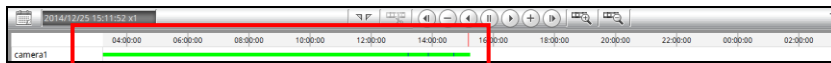
録画ビデオファイルの再生を開始する、カレンダーの日付と時刻を選択します。[OK] をクリックして再生を開始します。


- **日付**: カレンダー上の日付をクリックして選択します。太字の日付は、録画ファイルがあることを示します。🕒 アイコンおよび 🕒 アイコンをクリックして月を切り換えます。または、月の隣の ▼ アイコンをクリックして月を選択します。年を切り換えるには、年のテキストをクリックして、スピンボタンをクリックして選択します。
- **時刻**: 時刻ボックスで、時、分、秒を選択して、再生開始時刻を設定します。

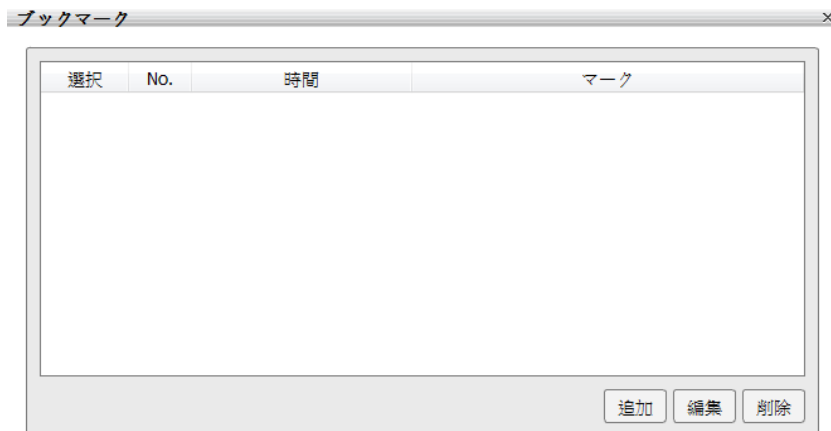
4.2.5.2 再生用にビデオのセクションをブックマーク

ビデオの特定の時刻のセクションをブックマークすることができます。

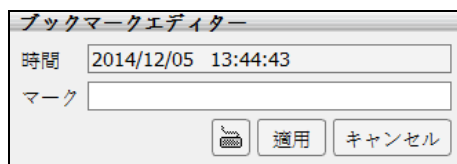
1. マウスを使用して再生時刻進捗バーを、ブックマークする時刻に動かします。



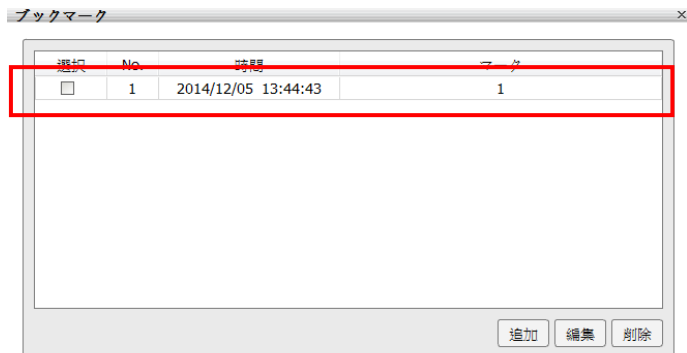
2. 次に、 アイコンをクリックします。[ブックマーク]ダイアログボックスが画面に表示されます。



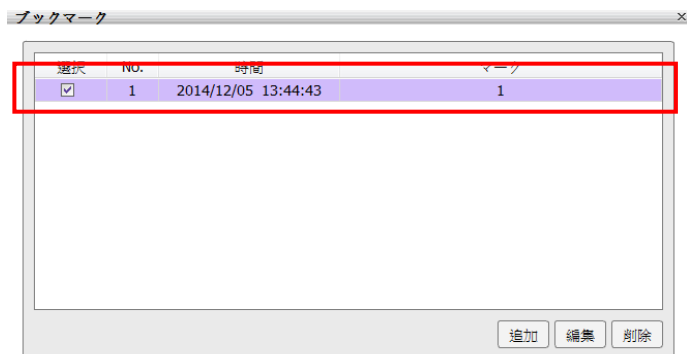
3. [追加] ボタンをクリックして、ブックマークリスト内に新しい参照マークを作成します。マークの説明または名前を入力し、[適用] ボタンをクリックしてブックマークを保存します。[ブックマークエディター]ダイアログボックスを閉じるには、[キャンセル] ボタンをクリックします。



- ブックマークリスト内の項目を選択してクリックし、ファイルを確認します。








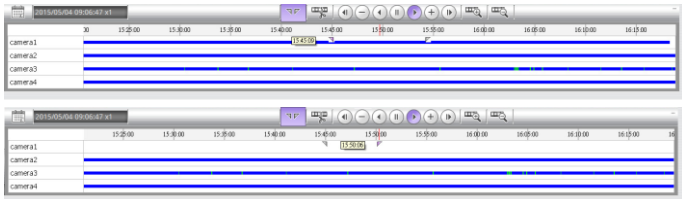
- ブックマークを編集するには、ブックマークを選択して[編集]ボタンをクリックします。
- ブックマークを削除するには、ブックマークを選択して[削除]ボタンをクリックします。




- [ブックマーク]ダイアログボックスを閉じるには、 アイコンをクリックします。

4.2.6 映像クリップ出力


1. Playback 画面を 1 画面モードに設定してください。
2. タイムバーの  と 、拡大/縮小ボタンを使い、表示時間を拡大することでセグメント時間の選択を容易にします。
3.  (セグメント) ボタンで開始と終了時間をマークしてください。
4. そして、 マーク (セグメント) をドラッグして期間を調整します。セグメントをキャンセルするにはもう一度  ボタン(セグメント)をクリックしてください。



5. 映像クリップ出力ボタン() をクリックするとダイアログボックスが現れます。

映像クリップ出力

サーバー	NVR 1	
開始日時	2015/05/04	08:59:44
終了日時	2015/05/04	09:09:11
<input type="checkbox"/> キーフレームのみ出力します		
<input type="checkbox"/> テキスト情報出力 (カメラ名、データ、POS情報)		
保存先	C:/Program Files (x86)/JVC/CMS/CM5000	
必要なスペース	224	MB

 **エクスポート** **高度設定** **キャンセル**

- **開始日時**: 映像クリップの開始日時を表示します。
- **終了日時**: 映像クリップの終了日時を表示します。
- **キーフレームのみ出力**: 映像セグメントのキーフレームのみ保存します。小さいサイズの映像クリップを出力できます。
- **テキスト情報出力(カメラ名、日付、POS 情報を含む)**: 映像と同時にテキスト情報も出力し、ファイル再生時にこれらの情報を画面に表示させることができます。
- **保存先**: 映像クリップの保存場所を指定します。
- **必要なスペース**: 映像クリップのファイルサイズを表示します。



監視するカメラが4台未満の場合は、映像クリップ出力ボタンをクリックした際、接続に失敗することがあります。

この場合は同一カメラを2ヶ所以上配置して、CH1,2,3,4 全てにカメラが配置されるようにしてください。

- **高度設定:** 必要なチャンネルを選択し、OK ボタンをクリックして設定を保存します。

高度設定

サーバー

開始日時

終了日時

試算表ファイルへ出力します

全部

1 2 3 4 5 6 7 8

9 10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23 24

25 26 27 28 29 30 31 32

33 34 35 36

OK キャンセル

6. エクスポートボタンを押して前述で指定した映像クリップを保存します。
7. 映像クリップを再生するには出力したファイル(*.avi)をダブルクリックしてください。

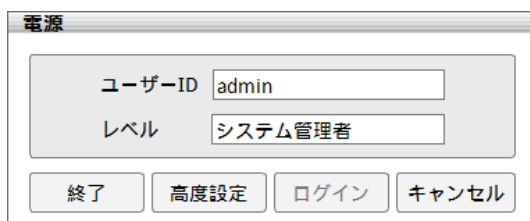
4.3 簡易モード

ライブビューと再生は、どちらも簡易モードをサポートしています。簡易モードに切り換えるには、電源ボタン(右下隅)をクリックして、[電源]ダイアログボックスで[コンパクト]ボタンを選択します。



電源			
ユーザーID	admin		
レベル	システム管理者		
終了	コンパクト	ログイン	キャンセル

[高度設定]モードに戻るには、電源ボタンをクリックして、[高度設定]ボタンを選択します。





電源			
ユーザーID	admin		
レベル	システム管理者		
終了	高度設定	ログイン	キャンセル

以降の節では、ライブビューおよび再生の簡易モードにおける機能ボタンについて説明します。

4.3.1 ライブビュー簡易モードの機能について



名前	機能
(1) セットアップ	[Setup (セットアップ)] ボタンをクリックして、カメラ、録画、ネットワーク、スケジューラー、バックアップ、センサー、リレー、アラーム、およびユーザー認証を設定できます。 (第 6 章 を参照)
(2) 分割画面モード	6 種類の分割表示モードが用意されています。分割モードアイコンをクリックして、分割表示モードを選択できます。監視対象カメラをすべてリセットするには、  を選択します。すべてのカメラ チャンネルがクリアされます。
 (3) オートスキャン	<ul style="list-style-type: none"> - NVR システムが複数画面モードになっているときは、カメラのビデオ画面をクリックして、目的の場所にドラッグできます。 - 複数画面モードでビデオを 1 つだけ表示するには、表示するビデオ画面をダブルクリックします。 各チャンネルの自動巡回表示を開始するには、これをクリックします。

名前**機能**

- (4) フルスクリーン 画面の全体を使用して、ビデオのみを表示します。元に戻すには、右下の矢印アイコンをクリックします。



複数画面モードで全画面に切り換えるときは、左クリックして、複数画面モードでビデオを1つだけ表示するか、すべて表示するかを切り換えます。

- (5) スナップショット 静止した録画イメージをキャプチャし、*.JPG または*.PNG ファイルで USB メモリーデバイスまたはローカルハードディスクドライブに保存します。(第 4.5 章 を参照)

- (6) 情報 CMS のバージョンを表示するには、これをクリックします。


- (7) 最小化 CMS を最小化してシステムトレイに入れます。

- (8) 電源ボタン [電源]ダイアログボックスを表示します。
[電源]ダイアログボックスで、以下を行うことができます。

電源

ユーザーID	admin		
レベル	システム管理者		
終了	高度設定	ログイン	キャンセル

- **終了**: CMS をシャットダウンします。
- **高度設定**: ライブビューモード(詳細モード)に切り換えます。
- **キャンセル**: [電源]ダイアログボックスを閉じます。



- (9) アラームログ  ボタンをクリックして、アラームイベントログを表示および検索します。
(第 4.4.2 章 を参照)

4.3.2 再生簡易モードの機能について



名前

機能

- | | |
|---|---|
| (1) セットアップ | [Setup(セットアップ)]ボタンをクリックして、カメラ、録画、ネットワーク、スケジューラー、バックアップ、センサー、リレー、アラーム、およびユーザー認証を設定できます。(第 6 章 を参照) |
| (2) 分割画面モード | 7 種類の分割表示モードが用意されています。分割モードアイコンをクリックして、分割表示モードを選択できます。監視対象カメラをすべてリセットするには、  を選択します。すべてのカメラチャンネルがクリアされます。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> - NVR システムが複数画面モードになっているときは、カメラのビデオ画面をクリックして、目的の場所にドラッグできます。 - 複数画面モードでビデオを 1 つだけ表示するには、表示するビデオ画面をダブルクリックします。 |

名前**機能**

(3) フルスクリーン

画面の全体を使用して、ビデオのみを表示します。元に戻すには、キーボードの **ESC** を押すか、矢印アイコンをクリックします。



複数画面モードで全画面に切り換えるときは、左クリックして、複数画面モードでビデオを 1 つだけ表示するか、すべて表示するかを切り換えます。

(4) スナップショット

静止した録画イメージをキャプチャし、*.JPG または*.PNG ファイルで USB メモリー デバイスまたはローカルハードディスクドライブに保存します。

(5) ブックマーク

録画ビデオファイルを再確認するときに後で戻れるように、参照点をマークします。(第 4.2.3 章を参照)

(6) バックアップ

再生ファイルを USB メモリーまたはローカルハードディスクに保存します。(第 4.2.4 章を参照)

(7) 情報

CMS のバージョンを表示するには、これをクリックします。

(8) 最小化

CMS を最小化してシステムトレイに入れます。

(9) 電源ボタン













[電源]ダイアログボックスを表示します。

[電源]ダイアログボックスで、以下を行うことができます。

電源

ユーザーID	<input type="text" value="admin"/>
レベル	<input type="text" value="システム管理者"/>
<input type="button" value="終了"/> <input type="button" value="高度設定"/> <input type="button" value="ログイン"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

- **終了**: CMS をシャットダウンします。
- **高度設定**: ライブビューモード(詳細モード)に切り換えます。
- **キャンセル**: [電源]ダイアログ ボックスを閉じます。

名前	機能
(10) アラームログ	 ボタンをクリックして、アラームイベントログを表示および検索します。(第 4.4.2 章 を参照)
(11)  (セグメント)	<p>録画ビデオの一部を保持して再生を繰り返します。セグメントビデオをメモリーデバイスに出力することもできます。</p> <p> ボタンをクリックして、セグメントビデオを設定します。三角マークをドラッグしてビデオセグメントを設定します。(第 4.2.6 章 を参照)</p>
(12) 	セグメントビデオファイルを*.avi フォーマットで保存します。(第 4.2.6 章 を参照)
(13) 再生コントロール ボタン	<p>左から右の順</p> <ul style="list-style-type: none">  コマ戻し: 前のフレームに戻ります。  速度を下げる: 1/2 倍、1/4 倍、または 1/8 倍の速度で録画ビデオファイルを再生します。再生速度は画面に表示されます。  逆再生: 録画ビデオファイルを巻き戻します。  一時停止: 録画ビデオファイルの再生を一時的に停止します。  再生: 録画ビデオファイルを再生します。  速度を上げる: 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍、64 倍の速度で録画ビデオファイルを再生します。再生速度は画面に表示されます。  コマ送り: 次のフレームに移動します。
(14)  (拡大/縮小)	再生時間バーを時間から分に拡張します。
(15) 進捗バー	<p>再生中のファイルの進捗を表示します。バーを動かして、トラックの位置に移動することができます。</p> <p>拡大/縮小ボタンを使用して、再生時間を時間から分に拡張します。</p>
(16) セントラルタイム	録画された日付、時刻、再生速度を表示します。

名前**機能**

(17) 日付/時刻で検索

録画ビデオファイルの再生を開始する、カレンダーの日付と時刻を選択します。

- **日付**: カレンダー上の日付をクリックして選択します。太字の日付は、録画ファイルがあることを示します。◀ アイコンおよび ▶ アイコンをクリックして月を切り換えます。または、月の隣の ▼ アイコンをクリックして月を選択します。年を切り換えるには、年のテキストをクリックして、スピンボタンをクリックして選択します。
- **時刻**: 時刻ボックスで、時、分、秒を選択して、再生開始時刻を設定します。


◀		12月 2014							▶	
日	月	火	水	木	金	土				
30	1	2	3	4	5	6				
7	8	9	10	11	12	13				
14	15	16	17	18	19	20				
21	22	23	24	25	26	27				
28	29	30	31	1	2	3				
4	5	6	7	8	9	10				
14:00:27							OK			

4.4 ログビューアー

システム内で発生するアクティビティ(アラーム、イベント、iPOS)の記録を表示します。特定のログを表示および検索できます。ここでの説明と図は、ライブビューモードのものであります。

4.4.1 イベントログビューアーの使用

イベントログビューアーは、ライブビューモードでのみサポートされています。

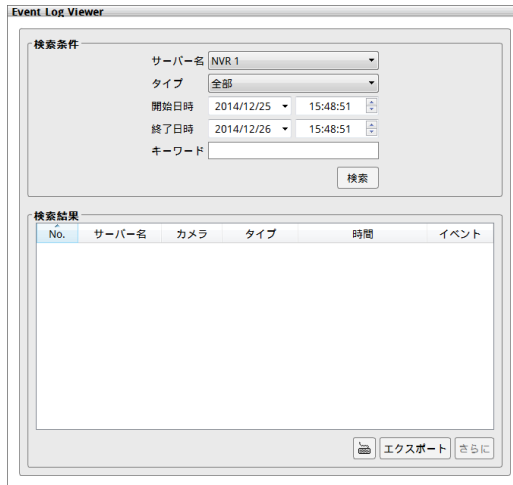
1. ライブビューモードでイベントログビューアー() ボタンをクリックします。
2. [Event Log Viewer(イベントログビューアー)]ダイアログボックスが左サイド画面の下に表示されます。



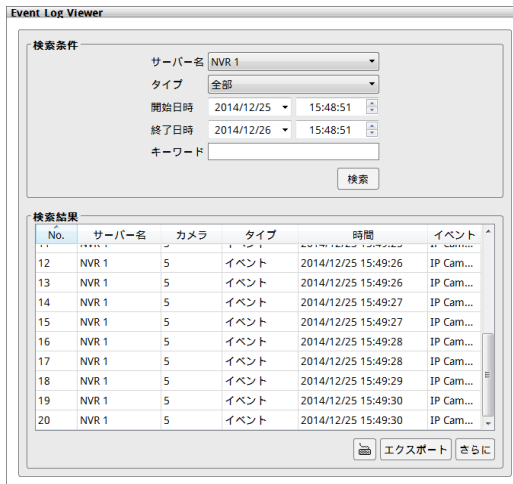
アイコンをクリックして、画面上に[Event Log Viewer(イベントログビューアー)]ダイアログボックスを展開します。



- ログをフィルターするには、[タイプで[システム]、[ネットワーク]、[オペレーション]、[イベント]、または[全部]を選択します。



- [開始日時]と[終了日時]を設定して、ログを検索します。
- キーワードで特定のログを検索することもできます。
- [検索]ボタンをクリックして検索を開始します。検索結果は、下の領域に表示されます。[さらに]ボタンをクリックして、さらなるイベントログを表示します。




- イベントログをクリックすると、ログビデオを表示できます。画面がイベントログ再生画面に切り換わります。
- [エクスポート]ボタンをクリックすると、ログ結果リストをローカルハードディスクドライブまたは USB メモリーに*.csv ファイルフォーマットで出力できます。

4.4.2 アラームログビューアーの使用

アラームログビューアーは、ライブビューモードでも再生モードでもサポートされています。

アラームイベントの表示

警告情報をアラーム通知および表示します。

1. ライブビューモードまたは再生モードでアラームログ() ボタンをクリックします。
2. [Alarm Log Viewer(アラームログビューアー)]ダイアログボックスが左サイド画面の下に表示されます。

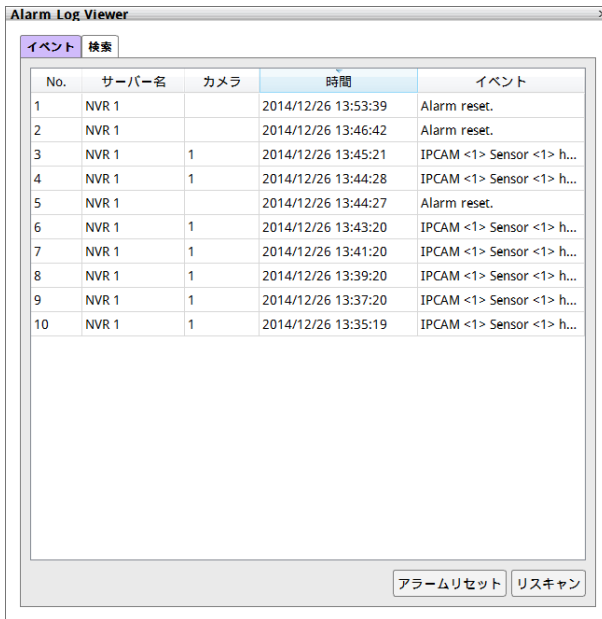


アイコンをクリックして、画面の上に[Alarm Log Viewer(アラーム ログ ビューアー)]ダイアログボックスを展開します。

3. 次に、[イベント]タブをクリックして、すべてのアラームイベントを表示します。




4. [アラームリセット] ボタンをクリックして、すべてのアラームイベントステータスをリセットします。
5. [リスキャン] ボタンをクリックして、アラームイベントリストを更新します。



6. アラームイベントをダブルクリックすると、イベントビデオを再生できます。

アラームイベントログの検索

特定のアラームイベントを検索します。

1. ライブビューモードまたは再生モードでアラームログ() ボタンをクリックします。
2. [Alarm Log Viewer(アラームログビューアー)]ダイアログボックスが左サイド画面の下に表示されます。

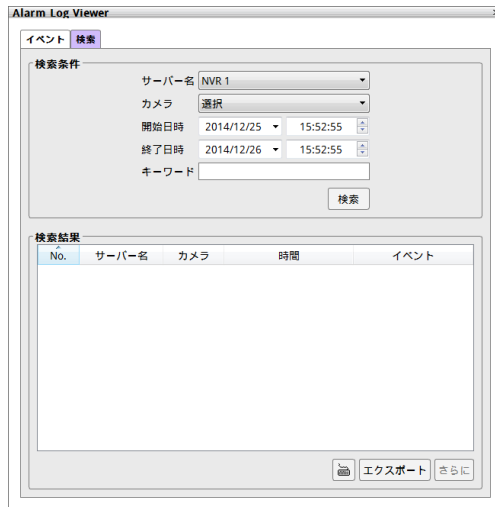


アイコンをクリックして、画面の上に [Alarm Log Viewer (アラーム ログ ビューアー)] ダイアログボックスを展開します。

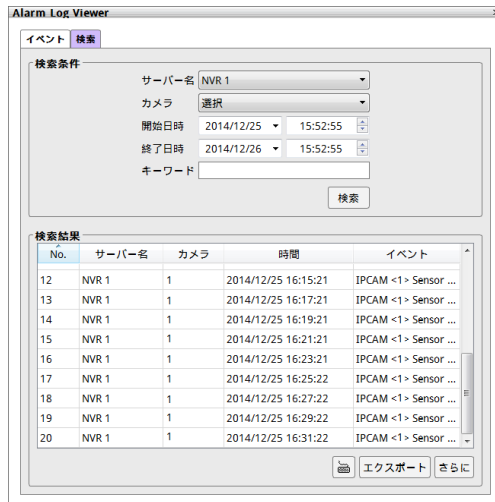
3. 次に、[Alarm Log Viewer(アラームログビューアー)]で[検索]タブをクリックします。



4. [Alarm Log Viewer(アラームログビューアー)]ダイアログボックスで、検索対象のカメラを選択します。複数のカメラを選択することができます。




5. [開始日時]と[終了日時]フィールドで検索期間を設定します。
6. 特定のキーワードで検索するには、[キーワード]フィールドにキーワードを入力します。
7. [検索]ボタンをクリックして検索を開始します。
8. 検索結果が下の領域にリストされます。[さらに]ボタンをクリックして、さらなるイベントログを表示します。




9. [エクスポート]ボタンをクリックすると、検索結果リストを USB メモリーに保存できます。
10. アラームイベントをダブルクリックすると、イベントビデオを再生できます。

4.4.3 POS ログビューアーの使用

[メモ] 本機ではサポートしていません。

1. ライブビューモードまたは再生モードで POS ログビューアー() ボタンをクリックします。
2. [POS Viewer (POS ビューアー)] ダイアログボックスが左サイド画面の下に表示されます。



 アイコンをクリックして、画面上に[POS Log Viewer (POS ログビューアー)] ダイアログボックスを展開します。




3. [POS Viewer (POS ビューアー)] ダイアログボックスで、検索対象のカメラを選択します。
4. [開始日時]と[終了日時]フィールドで検索期間を設定します。
5. 特定のキーワードで検索するには、[キーワード]フィールドにキーワードを入力します。入力したキーワードと 100 % 一致させるには、[完全一致する単語を検索]オプションをオンにします。
6. [検索] ボタンをクリックして検索を開始します。検索結果が下の領域にリストされます。詳細なイベントログを表示するには、[詳細] ボタンをクリックします。
7. [エクスポート] ボタンをクリックすると、検索結果を USB メモリーに保存できます。



4.5 画面のスナップショット

現在の表示画面をすばやくキャプチャして、*.jpg および*.PNG フォーマットでローカルハードディスクに保存します。

1. ライブビューモードまたは再生モードで、スナップショットアイコン()をクリックすると、[Save as(名前を付けて保存)]ダイアログボックスが表示されます。
2. **ファイル名**は変更できます。既定のファイル名は“snapshot.jpeg”です。
3. 保存先の場所を選択します。
4. [**保存**]ボタンをクリックして、キャプチャしたイメージファイルを、選択した場所に保存します。
5. キャプチャした画面は、以下のようになります。
[メモ]キャプチャした画面の縦横比は、正しくない場合があります。

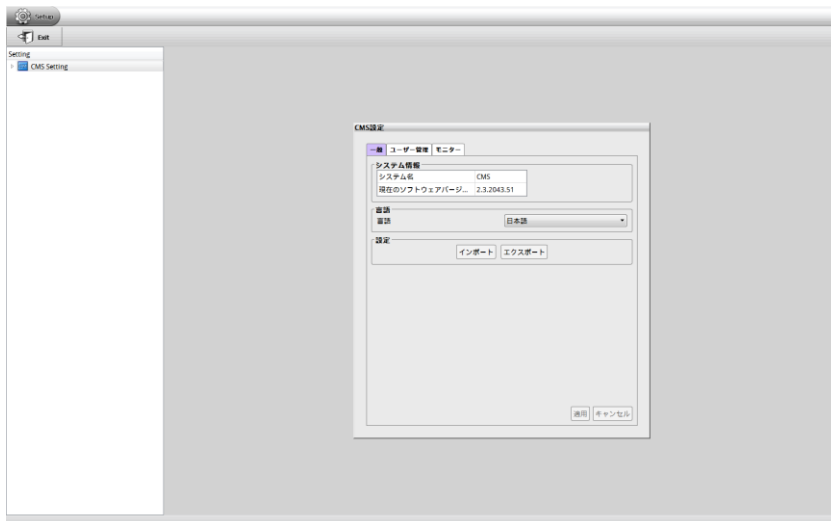


ライブビュー モード

第 5 章 CMS のカスタマイズ

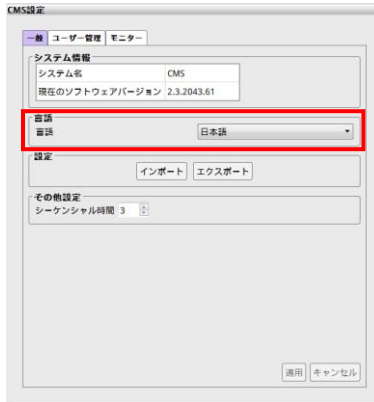
CMS の言語の設定、コンフィギュレーションファイルのエクスポート/インポート、ユーザーアカウントの管理、モニター設定を行うことができます。

[**Setup(セッアップ)**] タブをクリックして、[Setup(セッアップ)] ウィンドウを表示します。[**Exit(終了)**] ボタンをクリックすると、[Setup(セッアップ)] ウィンドウが閉じて、ライブビューウィンドウに戻ります。



5.1 CMS の言語のセットアップ

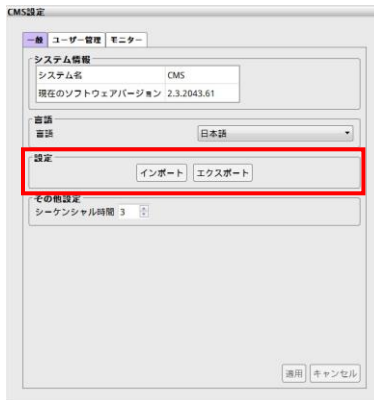
1. [Setup(セットアップ)]タブをクリックして、CMS のセットアップモードを呼び出します。
2. [CMS 設定]ダイアログボックスで、[言語]ドロップダウンリストからシステム言語を選択します。
3. [適用]をクリックして設定を保存します。



5.2 システムコンフィギュレーションのインポート/エクスポート

[Setup(セットアップ)]タブをクリックして、CMS のセットアップモードを呼び出します。

- **インポート:** 前にバックアップしたコンフィギュレーションファイルから同じ設定を読み込んで元に戻します。
- **エクスポート:** 同じ設定を元に戻せるように、すべての設定のコピーをバックアップします。



5.3 シーケンシャル時間の調整

オートスキャン機能のカメラのライブ映像切り換わり間隔を、3～10 秒の間で設定することができます。ここで設定した時間間隔でカメラのライブ映像が切り換わります。

The screenshot shows the 'CMS設定' (CMS Settings) window with the 'ユーザー管理' (User Management) tab selected. The 'システム情報' (System Information) section displays 'システム名' (System Name) as 'CMS' and '現在のソフトウェアバージョン' (Current Software Version) as '2.3.2043.61'. The '言語' (Language) is set to '日本語'. The '設定' (Settings) section includes 'インポート' (Import) and 'エクスポート' (Export) buttons. The 'その他設定' (Other Settings) section, highlighted with a red box, contains a dropdown menu for 'シーケンシャル時間' (Sequential Interval) set to '3'. At the bottom right, there are '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

5.4 ユーザーアカウントの管理

CMS にログインするためのユーザーアカウントを作成できます。

1. [Setup(セットアップ)]タブをクリックして、CMS のセットアップモードを呼び出します。
2. [CMS 設定]ページで、[ユーザー管理]タブをクリックします。

The screenshot shows the 'CMS設定' (CMS Settings) window with the 'ユーザー管理' (User Management) tab selected. The 'ユーザー情報' (User Information) section has a dropdown menu set to '番号で並べ替え' (Sort by Number) and a table with the following data:

選択	No.	名前	レベル	説明
<input type="checkbox"/>	1	admin	Administrator	Admin

Buttons for '追加' (Add) and '削除' (Delete) are located below the table. The 'ユーザー設定' (User Settings) section includes input fields for '名前' (Name), '説明' (Description), 'パスワード' (Password), and 'パスワード確認' (Password Confirmation). The '権限レベル' (Permission Level) section has radio buttons for 'ユーザー' (User) and 'システム管理者' (System Administrator), with 'ユーザー' selected. The '操作権限' (Operation Permissions) section has checkboxes for '設定' (Settings), '再生' (Playback), and 'プレビュー' (Preview). A '適用' (Apply) button is at the bottom right.

3. 新しいユーザーアカウントの[名前]、[説明]、[パスワード]、および[パスワード確認]を入力します。
4. [権限レベル]で[ユーザー]または[システム管理者]を選択します。
5. [操作権限]で[設定]、[再生]、または[プレビュー(ライブビュー)]を選択します。
ユーザーレベル権限は既定で「プレビュー」です。
6. [適用]をクリックしてアカウントを作成します。
7. ユーザーアカウントが[ユーザー情報]セクションにリストされます。

CMS設定

一般 ユーザー管理 モニター

ユーザー情報

番号で並べ替え ▼

選択	No.	名前	レベル	説明
<input type="checkbox"/>	1	admin	システム管理者	Admin
<input type="checkbox"/>	2	Guest	ユーザー	guest

追加 削除

ユーザー設定

名前

説明

パスワード

パスワード確認

権限レベル

ユーザー システム管理者

操作権限

設定

再生

プレビュー

適用

8. 他のユーザーアカウントを作成するには、[追加]をクリックして、前の入力情報をクリアし、上記の手順を繰り返します。
9. ユーザーアカウントを削除するには、ユーザーアカウントを選択して[削除]ボタンをクリックします。

5.5 モニターのセットアップ

CMS は最大 4 つのモニターをサポートします。それぞれのモニターを異なる表示用にセットアップできます。

[Setup(セットアップ)]タブをクリックして、CMS のセットアップモードを呼び出します。[CMS 設定]ページで、[モニター]タブをクリックします。

CMS は、自動的にモニターを検出します。それぞれのモニターを、異なる UI 機能(ライブビュー、再生、E-マップ、アラーム、POS、イベントログ)を表示するように設定できます。複数のモニターで設定できるのは、ライブビューUIのみです。E-マップ、アラーム、イベントログ、POS ボタンは、メインモニター(モニター1)にのみ表示されます。

The screenshot shows the 'CMS設定' (CMS Setup) window with the 'モニター' (Monitor) tab selected. It contains three configuration sections for 'モニター2', 'モニター3', and 'モニター4'. Each section has a '表示' (Display) dropdown menu currently set to 'Disable'. At the bottom right, there are two buttons: '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel).

モニター番号	表示 (Display)
モニター2	Disable
モニター3	Disable
モニター4	Disable

第 6 章 リモート NVR サーバーのカスタマイズ

CMS では、監視対象の NVR サーバーの設定をセットアップおよび変更できます。

1. **[Setup(セットアップ)]** タブをクリックして、CMS のセットアップモードを呼び出します。
2. **[CMS Setting(CMS 設定)]** の **▷** をクリックして、**[NVR Management(NVR 管理)]** の **▷** をクリックし、NVR サーバーリストを展開します。
3. 設定する NVR サーバーを選択して、NVR サーバーセットアップウィンドウに切り換えます。
4. リモートセットアップ設定はすべて、ローカルサイトのセットアップ設定と同じです。セットアップの詳細については、NVR の取扱説明書を参照してください。
5. **[Back(戻る)]** ボタンをクリックして、CMS セットアップウィンドウに戻ります。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話  **0120-2727-87**

携帯電話・PHS  **0570-010-114**

一部のIP電話など **045-450-8950**

FAX **045-450-2308**

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12